

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 長崎大学長
河野

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人 長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号	電話 (095) 819-7200
---------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	⑦内分泌内科	⑧代謝内科
⑨感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑩リウマチ科	
診療実績			
内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については主に皮膚科で対応している。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科	
診療実績 乳腺外科及び内分泌外科については乳腺・内分泌外科で対応している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科 8産科 9婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 10眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科 <input checked="" type="checkbox"/> 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1小児歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1泌尿器科・腎移植外科 2形成外科 3内分泌・代謝内科 4乳腺・内分泌外科 5病理診断科 6移植外科 7脳神経内科 8胃・食道外科 9大腸・肛門外科 10肝胆膵外科・肝移植外科 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	812床	862床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	584人	30人	594.5人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	146人	2人	146.9人	理学療法士	20人	臨床検査技師	70人
薬剤師	66人	0人	66.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	27人	0人	27.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	861人	10人	868.4人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	17人	0人	17.0人	歯科技工士	5人	事務職員	268人
管理栄養士	15人	0人	15.0人	診療放射線技師	46人	その他の職員	71人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	56人	眼科専門医	16人
外科専門医	47人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	6人	放射線科専門医	29人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	14人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	19人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	28人
産婦人科専門医	19人	救急科専門医	9人
		合 計	296人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (増崎 英明) 任命年月日 平成26年10月1日

- ・医療安全管理委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成26年10月1日～継続中)
※平成29年4月24日から「医療事故防止委員会」から「医療安全管理委員会」に名称変更

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	677.18人	15.93人	693.12人
1日当たり平均外来患者数	1312.38人	422.75人	1735.13人
1日当たり平均調剤数	2916剤		
必要医師数	151人		
必要歯科医師数	24人		
必要薬剤師数	37人		
必要(准)看護師数	405人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	405.55m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2m ² [移動式の場合] 台数 50台		病床数	50床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	173.7 m ² の一部	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置3台、自動血液ガス分析装置2台、全自動血糖・ヘモグロビンA1c測定装置2台			
細菌検査室	185 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光学顕微鏡、安全キャビネット、全自動同定装置、全自動血液培養装置			
病理検査室	343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置付切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット等			
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラマイクシステム等			
研究室	3,249m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172m ² 第4講義室 389m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員 第3講義室：132人 第4講義室：312人	
図書室	142m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数 14,400冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.0%	逆紹介率	111.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,860人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		24,701人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,304人
	D: 初診の患者の数		22,131人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学病院	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ 無	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ 無	1
星田 美鈴			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ 無	2
長谷川ゆり	本院産科婦人科		その他学長が必要と認めた者	有 ・無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 ホームページにより公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	7人
金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	1人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	1人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	2人
アルテプラザーゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法 並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脑、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	歯科用金属アレルギー成分分析	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 歯科用金属アレルギーまたはその疑い患者において、口腔内の金属を除去すること無く、ごく一部を採取するのみでその成分分析を行う方法。補綴物の除去をしないで検査可能なため、患者に余分な負担をかけることなく実施可能である。。また該当しない金属の不必要な除去を避けることができる。			
医療技術名	インプラント併用義歯	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 通常の義歯では維持安定が困難な義歯症例に対し歯科用インプラントを併用することにより義歯の維持安定および残存歯の保護機能改善したもの。			
医療技術名	磁性アタッチメント義歯	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 天然歯の歯根に磁性アタッチメントを応用し、残存歯根と歯槽骨の保護、義歯安定および審美性の改善を図った義歯			
医療技術名	顎義歯	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 顎骨腫瘍等により生じた顎骨欠損に対し義歯で補綴を行った症例			
医療技術名	コンフォート義歯	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 疼痛過敏や慢性疼痛を有する可撤性義歯適応患者に対し、従来材料よりも劣化の少ない軟質ライン材を応用した症例			
医療技術名	顎運動検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顎位不安定や顎関節症など顎機能異常を有する患者において下顎運動解析を装置を用いて評価し補綴治療を実施した症例			
医療技術名	CAD/CAM冠	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要 CAD/CAM技術を応用した補綴物を適応した症例			
医療技術名	オールセラミック冠/ブリッジおよびラミネートベニア	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 ジルコニアや二ケイ酸リチウムなどを用いたオールセラミックによる審美補綴治療			
医療技術名	フレンジ・ピエゾグラフィー応用義歯	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 顎堤高度吸収により義歯の安定が得られない患者に対しニュートラルゾーン記録により安定を図った症例			
医療技術名	脳死両肺・片肺移植術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 全国9施設でしか実施できない高度医療である。血液型と肺のサイズの適合した脳死ドナーの両肺を摘出しフラッシング後速やかに長崎大学に搬送する。レシピエントの両肺を摘出するため人工心肺が必要で、摘出されたドナー肺が到着後滞りなく片方ずつ移植手技を完了させる。肺の虚血許容時間は8時間と短く、摘出から搬送、移植手術まで高度な医療技術と知識を必要とする。			
医療技術名	小児ヒルシュスプルング病に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 長域型以上のヒルシュスプルング病に対し、従来の開腹手術に比較して侵襲の低い腹腔鏡手術を選択する			

医療技術名	小児先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 侵襲性、術後回復、術後合併症の見地から、より低侵襲である腹腔鏡手術を行う			
医療技術名	もやもや病に対する血行再建術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 もやもや病による脳梗塞、あるいは脳出血予防のためのバイパス手術			
医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	難治性間質性膀胱炎に対するヘパリン-リドカイン膀胱内注入療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 既存の治療法では症状の改善を得られない重度の間質性膀胱炎患者に対して、ヘパリン-リドカイン混合液を膀胱内に注入し、症状の改善を図る治療			
医療技術名	難治性精巣腫瘍に対するイリノテカン+ネダプラチン併用療法 (Ir/N療法)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 一次、二次化学療法に抵抗性の精巣腫瘍患者に対する化学療法			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められる。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子 (XPA~XPG) のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成 (UDS) 試験及びRNA合成回復 (RRS) 試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パジェット癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 有棘細胞癌、乳房外パジェット病においてRI法、色素法を併用しセンチネルリンパ節を同定。所属リンパ節転移の評価を行っている。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するドセタキセル療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められる。			

医療技術名	肝移植（生体、脳死）	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
当科では、1997年より生体肝移植を開始、これまでに267件の肝移植を実施している。生体肝移植256例、脳死肝移植11例を行い、良好な成績を収めている。九州では、3施設しか行っていない。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要			
心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード（高速回転冠動脈アテクトミー）による冠動脈形成術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要			
灰化病変をロータブレードで削り、その後、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	84
2	筋萎縮性側索硬化症	21	57	特発性拡張型心筋症	105
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	42
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	13	60	再生不良性貧血	43
6	パーキンソン病	100	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンテントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	71
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウス病	0	65	原発性免疫不全症候群	12
11	重症筋無力症	96	66	IgA腎症	35
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	17
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	65	68	黄色靱帯骨化症	17
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	14	69	後縦靱帯骨化症	96
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	8
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	94
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	44	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	19
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	86	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	55
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	13	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	4	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	144
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	38
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食空間性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	28
34	神経線維腫症	36	89	リンパ管筋腫症	20
35	天疱瘡	23	90	網膜色素変性症	30
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	84
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	47	95	自己免疫性肝炎	6
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	170
42	結節性多発動脈炎	21	97	潰瘍性大腸炎	241
43	顕微鏡的多発血管炎	52	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	22	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	41	101	腸管神経節細胞減少症	1
47	パージャー病	13	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	326	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	107	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	170	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	75	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	34	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型性溶血性尿毒症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	フラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルティ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	4
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイノミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マガニス症候群	0
153	難治癇回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症	1
216	両大血管右牽起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	5
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	16	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	8	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	6	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔道残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ボルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遷発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染防止対策地域連携加算
・歯科外来診療環境体制加算	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・退院支援加算1
・臨床研修病院入院診療加算	・退院支援加算3
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・呼吸ケアチーム加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・後発医薬品使用体制加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1(100対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算(一般病棟 25対1 看護補助者5割未満)	・データ提出加算2
・看護職員夜間12対1配置加算2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・救命救急入院料1
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算)	・歯科訪問診療料の注13に規定する基準
・喘息治療管理料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・糖尿病合併症管理料	・HPV核酸検出
・がん性疼痛緩和指導管理料	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・がん患者指導管理料1	・検体検査管理加算(IV)
・がん患者指導管理料2	・国際標準検査管理加算
・外来緩和ケア管理料	・遺伝カウンセリング加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・植込型心電図検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・院内トリアージ実施料	・胎児心エコー法
・外来放射線照射診療料	・ヘッドアップティルト試験
・ニコチン依存症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん治療連携計画策定料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん治療連携管理料	・神経学的検査
・排尿自立指導料	・補聴器適合検査
・認知症専門診断管理料	・ロービジョン検査判断料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・薬剤管理指導料	・内服・点滴誘発試験
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・医療機器安全管理料1	・有床義歯咀嚼機能検査
・医療機器安全管理料2	・画像診断管理加算2
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・歯科画像診断管理加算1
・在宅療養後方支援病院	・歯科画像診断管理加算2
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影

施設基準の種類	施設基準の種類
・CT撮影及びMRI撮影	・手術用顕微鏡加算
・冠動脈CT撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・外傷全身CT加算	・CAD/CAM冠
・大腸CT撮影加算	・歯科技工加算1及び2
・心臓MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)
・乳房MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)[乳房(再建手術)の場合に限る]
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来化学療法加算1	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・人工内耳植込術
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん患者リハビリテーション料	・人工中耳用材料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・精神科作業療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療保護入院等診療料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・同種死体肺移植術
・透析液水質確保加算2	・生体部分肺移植術
・一酸化窒素吸入療法	・内視鏡下筋層切開術

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的冠動脈形成術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・同種死体腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・生体腎移植術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・膀胱水圧拡張術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下仙骨脛固定術
・経皮的大動脈遮断術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ダメージコントロール手術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・体外衝撃波胆石破砕術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・腹腔鏡下肝切除術	・輸血管理料 I
・生体部分肝移植術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・同種死体肝移植術	・自己生体組織接着剤作成術
・体外衝撃波膵石破砕術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	13回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 25例 / 剖検率 8.0%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳虚血時における血液脳関門の破綻及び修復機序の解明(国際共同研究強化)	諸藤 陽一	脳神経外科	11,200,000	補委 日本学術新興会
単一乳癌細胞全ゲノムシーケンス解析技術を応用した腫瘍内不均一性の解析とその克服(国際共同研究強化)	及川 将弘	乳腺・内分泌外科	7,500,000	補委 日本学術新興会
成熟脂肪細胞のDirect Reprogrammingによる骨再生システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	2,700,000	補委 日本学術新興会
顧みられない熱帯病に対する予防および治療を目的とした革新的技術の開発	佐々木 均	薬剤部	4,600,000	補委 日本学術新興会
bFGF徐放能と自浄機能を有するマルチファンクション型軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	3,000,000	補委 日本学術新興会
五島市における口腔と全身健康状態の相互関連性に関する追跡調査	齋藤 俊行	予防歯科学	4,500,000	補委 日本学術新興会
異種-脱細胞化組織骨格の再細胞化による、再生気管、再生肺の移植研究	土谷 智史	呼吸器外科	2,100,000	補委 日本学術新興会
荷重環境下インプラント周囲の骨細胞による骨質制御機構を解明する	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	3,500,000	補委 日本学術新興会
脳内神経伝達物質をターゲットとした摂食機能障害の病因・病態の解明とその治療戦略	吉田 教明	矯正歯科	4,400,000	補委 日本学術新興会
シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	田崎 修	救命救急センター	4,700,000	補委 日本学術新興会
先天性風疹症候群は今後も脅威であり続けるのか? :ベトナムにおけるレッスン	森内 浩幸	小児科学	6,800,000	補委 日本学術新興会
VR Systemと3D-Printing技術を応用した新規外科教育の開発	日高 重和	胃・食道外科	800,000	補委 日本学術新興会
一人手術を旨とした装着型筋活動センサーによる内視鏡下手術支援器具の開発	黒木 保	肝胆膵外科・肝移植外科	200,000	補委 日本学術新興会
内臓脂肪が増加しやすいハイスク青年期成人男性の予知因子の同定	山崎 浩則	内分泌・代謝内科	800,000	補委 日本学術新興会
パルミトレイン酸によるクローン病の炎症制御	竹島 史直	消化器内科	1,100,000	補委 日本学術新興会
拡張型心筋症の診断における心内膜心筋生検の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	500,000	補委 日本学術新興会
肺高血圧症の早期診断における新規酸化ストレスマーカーの探索的検討	池田 聡司	循環器内科	800,000	補委 日本学術新興会
全身性エリテマトーデスに合併するループス腎炎の疾患標的分子と機能解析	一瀬 邦弘	リウマチ・膠原病内科	1,000,000	補委 日本学術新興会
クリプトコックスに対する免疫応答の解明と、菌の臓器指向性と免疫応答の関係の解明	河野 茂	感染症内科	500,000	補委 日本学術新興会
肺アスペルギルス症におけるグレリンの有用性と作用機序の解析	今村 圭文	感染症内科	1,200,000	補委 日本学術新興会
ARMSと発達障害特性を中間表現型とした統合失調症大家族の遺伝子解析	今村 明	精神科神経科	1,400,000	補委 日本学術新興会
リチウムを含む超微量元素の経口長期投与における自殺予防効果の検証	山口 尚宏	精神科神経科	1,500,000	補委 日本学術新興会
尿液伝播速度と血管壁硬化との関係について:2管球型CTと光造形モデルによる検討	坂本 一郎	放射線科	700,000	補委 日本学術新興会
関節リウマチにおける3テスラ高解像度MRIによる手関節の骨・軟骨病変解析の研究	上谷 雅孝	放射線科	400,000	補委 日本学術新興会
迅速な肝細胞複合シート作製技術を基盤とした急性肝不全治療	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	800,000	補委 日本学術新興会

羊膜と再生刺激を用いた肝再生医療	高槻 光寿	肝胆膵外科・肝移植 外科	1,100,000	補 委	日本学術 新興会
甲状腺再生医療による甲状腺機能低下症に対する新たな治療戦略	南 恵樹	乳腺・内分泌外科	1,400,000	補 委	日本学術 新興会
甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診診断における53BP1核内フォーカスの有用性の検討	矢野 洋	乳腺・内分泌外科	500,000	補 委	日本学術 新興会
食道胃接合部癌における新規バイオマーカー(Runx3, EZH2)の機能解析	國崎 真己	胃・食道外科	700,000	補 委	日本学術 新興会
EGFRカスケードと5-FU代謝酵素のクロストーク解明による肺癌治療の個別化戦略	永安 武	呼吸器外科	1,100,000	補 委	日本学術 新興会
組織工学と幹細胞研究を融合させた新規自己細胞由来人工気管、肺による再生医療	町野 隆介	呼吸器外科	600,000	補 委	日本学術 新興会
脳梗塞治療効果の飛躍的向上への戦略～急性期薬物治療と幹細胞移植の融合～	堀江 信貴	脳神経外科	800,000	補 委	日本学術 新興会
高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイト的作用	林 健太郎	脳神経外科	1,100,000	補 委	日本学術 新興会
高血糖における心保護戦略の開発:PDE3阻害薬の効果	原 哲也	麻酔科	1,100,000	補 委	日本学術 新興会
高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流障害に与える影響	稲富 千亜紀	麻酔科	1,200,000	補 委	日本学術 新興会
バランス麻酔の虚血心筋保護戦略—心肺蘇生モデルによる検討—	吉富 修	麻酔科	1,000,000	補 委	日本学術 新興会
腎癌細胞と癌間質組織におけるHO-1の病理学的な役割の解析と新たな治療戦略の構築	松尾 朋博	泌尿器科	1,700,000	補 委	日本学術 新興会
胎児・胎盤特異的mRNA/microRNAの機能解析とその臨床応用に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	800,000	補 委	日本学術 新興会
シェーグレン症候群ACR診断基準修正案の策定	高木 幸則	歯科放射線学	1,300,000	補 委	日本学術 新興会
われわれは転移リンパ節のSUV上昇に何をみているのか?	佐々木 美穂	歯科放射線学	400,000	補 委	日本学術 新興会
根面う蝕の予防および初期活動性根面う蝕の再石灰化に関するランダム化比較試験	久保 至誠	医療教育開発センター	1,300,000	補 委	日本学術 新興会
インプラントの咬合力調節機構は天然歯とどのように違うのか?	田中 美保子	歯科補綴学第二	500,000	補 委	日本学術 新興会
メタゲノム解析を応用したインプラント周囲炎の病態解明	綿本 隆生	歯科補綴学第一	600,000	補 委	日本学術 新興会
プロテインビーズを含有した治療促進効果を持つティッシュコンディショナーの開発	黒木 唯文	歯科補綴学第二	800,000	補 委	日本学術 新興会
iPS細胞の供給源としての乳歯歯髓細胞の有用性について	釜崎 陽子	小児歯科学	800,000	補 委	日本学術 新興会
組織再生起点となる血管形成におけるCCN3の役割解明と創薬基盤の構築	南里 篤太郎	口腔外科学第二	1,400,000	補 委	日本学術 新興会
多施設共同前向きランダム化比較試験による放射線性口腔粘膜炎の重症化抑制効果の検討	梅田 正博	口腔外科学第一	400,000	補 委	日本学術 新興会
CCR4分子標的治療薬の頭頸部癌での抗腫瘍効果	銅前 昇平	口腔外科学第二	700,000	補 委	日本学術 新興会
培養操作を介さない末梢血由来単核細胞を利用した骨再生法の確立	大場 誠悟	口腔外科学第二	500,000	補 委	日本学術 新興会
成長軟骨細胞が自ら産生する分泌性蛋白質による分化制御	日高 聖	小児歯科学	1,100,000	補 委	日本学術 新興会
頭頸部周術期口腔ケアにおける口腔清掃度の評価-心理学的アプローチと細菌学的検証-	五月女さき子	口腔外科学第一	1,000,000	補 委	日本学術 新興会
ハイブリッド人工胆管構築技術を基盤とした術後胆管狭窄予防	曾山 明彦	肝胆膵外科・肝移植 外科	1,500,000	補 委	日本学術 新興会
肺腺癌の発症に寄与する癌遺伝子の検索	福島 喜代康	呼吸器内科	1,600,000	補 委	日本学術 新興会

HTLV-1キャリアクローン解析に基づく新規バイオマーカーの探索	長谷川 寛雄	臨床検査医学	1,400,000	補委	日本学術新興会
高品質な地域完結型医療に向けたICTネットワーク型地域連携バスの開発と評価	松本 武浩	医療情報部	1,100,000	補委	日本学術新興会
慢性肝疾患におけるロコモティブシンドロームの関連についての解明	田浦 直太	消化器内科	1,100,000	補委	日本学術新興会
AMPK活性化とGSK3阻害によるワールブルグ効果抑制を介した肝癌制御の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術新興会
α-Klothoの冠動脈プラーク組織性状評価における役割と臨床的意義の解明	古賀 聖士	循環器内科	1,300,000	補委	日本学術新興会
間質性肺疾患に対する革新的分子標的治療法の確立	角川 智之	呼吸器内科	1,100,000	補委	日本学術新興会
MRIで関節リウマチの軟骨傷害を評価し軟骨再生医療につなげる基礎研究	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科	1,200,000	補委	日本学術新興会
CTLA-4-Igの新たな作用を解析し次世代の治療標的の探索に繋げる基礎研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	1,100,000	補委	日本学術新興会
マイクロバイオーム解析に基づく高齢者肺炎の病態解明と革新的予防法への展開	柳原 克紀	臨床検査医学	800,000	補委	日本学術新興会
難治性真菌感染症の克服を目指した新規治療戦略の開発	宮崎 泰可	感染症内科	1,100,000	補委	日本学術新興会
Dual-energy CT画像を用いた肺高血圧患者の肺血流量定量法の確立	末吉 英純	放射線科	800,000	補委	日本学術新興会
脾臓癌とその微小環境分子群との相互作用による腫瘍免疫システムへの包括的影響の解明	長井 一浩	細胞療法部	1,200,000	補委	日本学術新興会
気管の縫合不全や気管支断端瘻に対する再生医学を応用した新しい予防・治療法の開発	田浦 康明	小児外科	1,100,000	補委	日本学術新興会
尿路癌の新たな治療標的および予後予測因子としてのFes/Ferに関する網羅的検討	竹原 浩介	泌尿器科	1,700,000	補委	日本学術新興会
臨床検体データによる肉腫様腎癌実験モデルの有用性の検討と新たな治療標的の探索	望月 保志	泌尿器科	1,100,000	補委	日本学術新興会
子宮内膜症の骨盤内慢性炎症が卵巣予備能を低下させる分子病理学的機序に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,200,000	補委	日本学術新興会
癒着胎盤に関連するmRNA/microRNAの同定と臨床応用に関する研究	吉田 敦	産科婦人科	800,000	補委	日本学術新興会
陣痛発来に関連するmRNA/microRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	800,000	補委	日本学術新興会
眼内増殖性疾患における分子メカニズムの解明およびコハク酸の役割	北岡 隆	眼科	1,200,000	補委	日本学術新興会
Runx2のGalnt3発現制御を介したリン代謝調節の生理的意義の検証	六反田 賢	口腔外科学第一	1,300,000	補委	日本学術新興会
高b値拡散強調MRIを用いた細胞評価に基づく頭頸部腫瘍診断法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,200,000	補委	日本学術新興会
光合成モデルのバイオインスパイアード材料を接着強化に用いる破折歯根の保存再生	平 曜輔	歯科補綴学第一	300,000	補委	日本学術新興会
窯業の上給付技法を用いた固定性補綴装置の色調再現	田上 直美	特殊歯科総合治療部	1,100,000	補委	日本学術新興会
ジルコニア焼結前のアルミナプラスティンクは装着材の接着性と低温劣化を改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	500,000	補委	日本学術新興会
医工連携による視線追尾システム開発で無影灯調整を自動化する	野上 朋幸	特殊歯科総合治療部	2,200,000	補委	日本学術新興会
骨-リンパ系免疫システムを賦活化する脂肪由来幹細胞を用いたARONJ治療法の開発	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	1,300,000	補委	日本学術新興会
口腔癌遠隔転移に関与する播種性腫瘍細胞を制御するmicroRNAに関する研究	柳本 惣市	口腔外科学第一	1,100,000	補委	日本学術新興会
OFCD症候群における乳歯歯根吸収不全と長根形成に対する生化学的研究	西口 美由季	小児歯科学	1,300,000	補委	日本学術新興会

薬剤による歯周炎ならびにインプラント周囲炎の予防に関する実験病理学的研究	原 宜興	歯科保存学第二	1,300,000	補委	日本学術新興会
歯周炎発症におけるNLRP3インフラマソームの関与	中村 弘隆	歯科保存学第二	1,300,000	補委	日本学術新興会
歯周病と糖尿病によるNASH肝がん発症機序における相互作用解析	古堅 麗子	予防歯科学	1,000,000	補委	日本学術新興会
頭頸部姿勢制御と呼吸相制御に同期した随意運動介助型電気刺激療法の開発	鮎瀬てるみ	特殊歯科総合治療部	900,000	補委	日本学術新興会
新規薬剤性肝障害バイオマーカーの探索および肝障害発症予測システムの確立	北原 隆志	薬剤部	1,300,000	補委	日本学術新興会
心拍間隔変動パワースペクトルによる術中自律神経状態解析-外科修練の最適化へ向けて	山之内 孝彰	乳腺・内分泌外科	900,000	補委	日本学術新興会
ゲノム不安定性が解き明かす非アルコール性脂肪性肝炎の発症メカニズム	赤澤 祐子	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術新興会
miRNAの膠原病性肺動脈性肺高血圧症のバイオマーカーとしての有用性と役割の解明	江口 正倫	循環器内科	1,400,000	補委	日本学術新興会
セロニントランスポーター/セロトニン拮抗による急性肺障害の防御機構の解明	田中 健之	熱研内科	1,000,000	補委	日本学術新興会
"バイオニア転写因子"IRF4を標的にした1型糖尿病の治療探索	阿比留 教生	内分泌・代謝内科	1,600,000	補委	日本学術新興会
シェーグレン症候群におけるHTLV-1の作用点と分子機序を解明する多角的な研究	中村 英樹	リウマチ・膠原病内科	1,200,000	補委	日本学術新興会
マイクロバイオーム解析による慢性肺炎アスペルギルス症の新規治療開発の試み	泉川 公一	感染制御教育センター	1,700,000	補委	日本学術新興会
肥満外科手術マウスを用いた減量効果における視床下部NPYシステムの解析	金高 賢悟	胃・食道外科	1,000,000	補委	日本学術新興会
人工赤血球を持つ肺虚血再還流障害抑制効果の臨床応用を目指した、臓器保護の研究	宮崎 拓郎	呼吸器外科	1,500,000	補委	日本学術新興会
酵素ナノミドルを使用した細胞培養および3次元構造物における新たな培養方法の開発	武岡 陽介	肝胆膵外科・肝移植外科	1,800,000	補委	日本学術新興会
脳梗塞に対する幹細胞療法の新規増殖メカニズムの解明	日宇 健	脳神経外科	1,200,000	補委	日本学術新興会
敗血症性ショックと小腸粘膜障害-新規治療ターゲットとしての基盤確立-	関野 元裕	集中治療部	1,200,000	補委	日本学術新興会
虚血再灌流障害に対するGLP-1受容体の役割と心筋保護戦略	柴田 伊津子	麻酔科	1,300,000	補委	日本学術新興会
前立腺癌ARスプライシングバリエントで活性化する新規アンドロゲン応答遺伝子の解明	志田 洋平	泌尿器科	1,200,000	補委	日本学術新興会
癌間質浸潤細胞におけるPGE2受容体を標的にした去勢抵抗性前立腺癌治療の検討	酒井 英樹	泌尿器科	1,100,000	補委	日本学術新興会
妊娠初期の嚢胞化絨毛特異的分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	1,800,000	補委	日本学術新興会
がん進展と転移におけるcPLA2の役割	佛坂 由可	歯科放射線学	1,500,000	補委	日本学術新興会
分子イメージングを用いたcPLA2欠損マウスにおける骨代謝異常解析	片山 郁夫	歯科放射線学	1,600,000	補委	日本学術新興会
天然生理活性ペプチドのヒト歯髄由来幹細胞培養・移植による骨再生能の解析	山田 志津香	歯科保存学第一	1,700,000	補委	日本学術新興会
自己組織化機能を有するヒト由来iPS細胞を用いた歯髄組織再生の具現	池田 毅	歯科保存学第一	1,800,000	補委	日本学術新興会
非晶質シリカ膜コーティングによるインプラントアパットメント表面の機能化	尾立 哲郎	歯科補綴学第一	1,000,000	補委	日本学術新興会
Eccentric運動は疼痛過敏のトリガー因子に成り得るのか?-睡眠との関連-	鳥巢 哲朗	歯科補綴学第二	2,000,000	補委	日本学術新興会
可視化リアルタイム解析によるオピオイド製剤耐性形成機構解明と新規鎮痛法の開発	倉田 眞治	歯科麻酔学	1,000,000	補委	日本学術新興会

P. melaninogenicaの感染性肺炎病原因子の同定と病態発症機序の解明	星野 倫範	小児歯科学	1,300,000	補委	日本学術新興会
歯石によるインフラマソーム活性化機構の解明とその阻害薬を用いた歯周組織破壊の抑制	吉村 篤利	歯科保存学第二	1,200,000	補委	日本学術新興会
咬合性外傷における骨細胞の役割の検討	鶴飼 孝	歯科保存学第二	1,000,000	補委	日本学術新興会
歯周病が高密度リポタンパク質の量と質に及ぼす影響の解明	林田 秀明	予防歯科学	1,100,000	補委	日本学術新興会
唾液の誤嚥と舌圧の関連	三串 伸哉	特殊歯科総合治療部	500,000	補委	日本学術新興会
脱細胞化、再細胞化技術を使った再生肺の脆弱性の改善と、臓器保護に関わる基礎研究	土谷 智史	呼吸器外科	300,000	補委	日本学術新興会
高齢者が安全に実施できる新しい咽頭期嚥下リハビリ手技の評価	小山 善哉	予防歯科学	500,000	補委	日本学術新興会
PTH製剤の間歇的局所輸送による革新的なグラフトレス骨増生法の開発	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	1,400,000	補委	日本学術新興会
細胞イメージングによる歯周病と認知症の関連におけるオートファジー機構解明	齋藤 俊行	予防歯科学	1,200,000	補委	日本学術新興会
全エクソソームに基づく成人ステル病の「病態制御システム」の同定	古賀 智裕	医療教育開発センター	700,000	補委	日本学術新興会
尿中免疫複合体の網羅的な解析結果に基づく尿路癌の新たな尿路再発予測モデルの構築	宮田 康好	泌尿器科	900,000	補委	日本学術新興会
胚培養液中における受精胚由来microRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	村上 優子	産科婦人科	1,400,000	補委	日本学術新興会
低温ショック蛋白RBM3から展開する低温による炎症制御メカニズムの解明	田崎 修	救命救急センター	900,000	補委	日本学術新興会
唾液分泌促進機能を有するドライマウス患者用粘膜活性口腔保湿ジェルの創製	村田 比呂司	歯科補綴学第二	800,000	補委	日本学術新興会
骨誘導型exosomeによる遺伝子送達機能を付与した新規人工骨材料の開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	1,300,000	補委	日本学術新興会
6自由度顔運動と生体情報の同時計測による咀嚼・嚥下制御メカニズム解明への新展開	吉田 教明	矯正歯科	1,100,000	補委	日本学術新興会
肝細胞-内皮細胞索状組織移植による肝小葉構造を模倣した立体肝臓の創製	堺 裕輔	肝胆膵外科・肝移植外科	12,800,000	補委	日本学術新興会
口腔外科手術を想定した各種操作が声門上器具に与える影響	讃岐 拓郎	歯科麻酔学	700,000	補委	日本学術新興会
肝線維化に伴うmicroRNA発現変化を介した肝癌幹細胞維持メカニズムの解明	三馬 聡	消化器内科	1,000,000	補委	日本学術新興会
遺伝子導入による老化肝若返りによる移植肝の肝再生促進、肝虚血再灌流障害克服	日高 匡章	肝胆膵外科・肝移植外科	1,100,000	補委	日本学術新興会
子宮内膜の機能調節における抗ミューラー管ホルモン(AMH)の役割に関する研究	谷口 憲	産科婦人科	700,000	補委	日本学術新興会
ボツリヌス毒素誘発性の機能低下モデルを用いた形態成長と機能発達に関する統合的研究	内海 大	矯正歯科	600,000	補委	日本学術新興会
過敏性肺炎における免疫複合体解析	原 敦子	集中治療部	1,300,000	補委	日本学術新興会
宿主細胞のオートファジーに着目したインフルエンザ関連肺炎の重症化メカニズム解明	小佐井 康介	検査部	1,000,000	補委	日本学術新興会
ケロイド発生病態にHDAC阻害剤が及ぼす影響の検討	鍛塚 大	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術新興会
シンクロナロンCTおよび有限要素解析を用いた骨梁微細骨折の発生メカニズムの研究	千葉 恒	整形外科	1,100,000	補委	日本学術新興会
自然免疫受容体発現のパターン解析による発熱の新規鑑別法の開発	田島 吾郎	救命救急センター	1,500,000	補委	日本学術新興会
FGF23-klotho axisをメディエーターとした骨細胞の機能解析	佐々木 宗輝	歯科補綴学第一	1,500,000	補委	日本学術新興会

Runx2による骨芽細胞突起形成阻害の分子メカニズムとその生理的意義の解明	河井 洋祐	口腔外科学第二	1,600,000	補委	日本学術新興会
ヒトIPS細胞を用いた低酸素培養による基礎的研究	杉本 浩司	歯科保存学第一	1,500,000	補委	日本学術新興会
銀ナノ微粒子を用いた抗菌効果を有する軟質リライン材の新規開発	江越 貴文	歯科補綴学第二	800,000	補委	日本学術新興会
常温セラミックス膜形成技術を応用したジルコニアの接着前装に関する研究	篠原 綾乃	歯科補綴学第一	200,000	補委	日本学術新興会
荷重下インプラント周囲骨の適応変化がもたらすインプラントデザインの最適化	安武 宗徳	歯科補綴学第一	900,000	補委	日本学術新興会
血管内皮前駆細胞を用いた吸収性遮蔽膜による新規歯周組織再生療法の開発	川崎 貴子	特殊歯科総合治療部	900,000	補委	日本学術新興会
Cetuximab耐性口腔癌に対する分子標的治療の基礎的研究	鳴瀬 智史	口腔外科学第一	1,200,000	補委	日本学術新興会
唾液中のリン脂質活性化療法を用いた新しい睡眠時無呼吸症候群の薬物治療法の開発	河井 真理	麻酔・生体管理室	900,000	補委	日本学術新興会
感染性心内膜炎起因菌の組織定着と病態形成の解明	近藤 好夫	小児歯科学	1,300,000	補委	日本学術新興会
矯正治療期間短縮のための骨リモデリングを含めた長期的な歯の移動予測システムの構築	富永 淳也	矯正歯科	1,000,000	補委	日本学術新興会
フラボノイド類の抗酸化活性による歯根吸収抑制効果の検討	森田 幸子	矯正歯科	1,400,000	補委	日本学術新興会
PET/SPECT/CTイメージングによる肺炎スベルギルス症診断法の開発	田代 将人	感染制御教育センター	1,100,000	補委	日本学術新興会
消化管癌に対する新しいレーザー光線力学的診断の基礎的・臨床的研究	松島 加代子	医療教育開発センター	500,000	補委	日本学術新興会
女性特有のサルコペニア発症メカニズムの解明と治療応用	北島 百合子	産科婦人科	1,900,000	補委	日本学術新興会
肺がんにおける抗PD-1抗体の効果予測因子の発見	池田 喬哉	呼吸器内科	1,400,000	補委	日本学術新興会
テーラーメイド医療を目指したIgA腎症における軽鎖の検討	北村 峰昭	血液浄化療法部	1,400,000	補委	日本学術新興会
MicroRNAによる種々の細胞レベルでの関節リウマチの病態修飾の試み	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科	1,800,000	補委	日本学術新興会
Cryptococcus症の危険因子としての抗サイトカイン自己抗体の解析	西條 知見	感染症内科	1,500,000	補委	日本学術新興会
皮膚創傷断端表皮細胞における上皮間葉移行の機序解明	小池 雄太	皮膚科	1,600,000	補委	日本学術新興会
インビード法を用いた肝脂肪率の新規評価手法	原 貴信	肝胆膵外科・肝移植外科	1,100,000	補委	日本学術新興会
羊膜を用いた低抗原性の肝細胞移植デバイスの作製	夏田 孔史	肝胆膵外科・肝移植外科	1,000,000	補委	日本学術新興会
医原性卵巣機能不全に対する妊孕性温存を目的とした卵巣組織凍結・再移植の基礎的研究	村上 直子	産科婦人科	1,000,000	補委	日本学術新興会
妊娠がHTLV-1キャリアに及ぼす影響についての基礎的研究	淵 直樹	産科婦人科	1,500,000	補委	日本学術新興会
子宮頸がん検診における自己採取型HPV-DNA検査の受診率向上効果に関する研究	阿部 修平	産科婦人科	1,400,000	補委	日本学術新興会
幹細胞分化3次元網膜様組織を用いた網膜神経節細胞の神経突起伸長に関する研究	前川 有紀	眼科	700,000	補委	日本学術新興会
体性幹細胞ホーミング因子を用いた新規根管充填法の開発	松裏 貴史	歯科保存学第一	1,400,000	補委	日本学術新興会
抗真菌性および易除去性を有するクリームタイプ義歯安定剤の開発	吉田 和弘	歯科補綴学第二	1,400,000	補委	日本学術新興会
血管内皮前駆細胞移植によるBRONJの病因解明と標的分子同定による新治療法の開発	中島 和慶	歯科補綴学第一	1,600,000	補委	日本学術新興会

新規培養法による末梢血濃縮細胞群由来エクソソームを用いた萎縮唾液腺再生療法の開発	井 隆司	口腔外科学第二	1,500,000	補委	日本学術新興会
ナノバイオグラス・低接着性コラーゲンを応用した高機能遺伝子活性化基質の創成	三浦 桂一郎	口腔外科学第二	1,300,000	補委	日本学術新興会
ボツリヌス毒素誘発性機能低下モデルを用いた顎口腔機能・形態発育障害の治療法検討	藤下 あゆみ	矯正歯科	1,800,000	補委	日本学術新興会
全身性エリテマトーデスにおけるCD4+CD52+細胞の免疫調節に関する研究	梅田 雅孝	リウマチ・膠原病内科	1,500,000	補委	日本学術新興会
蛋白同化ステロイドによる咀嚼筋の早期賦活化が顎口腔機能及び顎顔面形態に与える効果	中村 文	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術新興会
遺伝子導入と組織工学による局所環境制御を目指した次世代細胞治療法の開発	小林 慎一郎	胃・食道外科	1,100,000	補委	日本学術新興会
微小粒子状生体材料と機能性miRNAを搭載した新規遺伝子活性化基質による骨再生	梅林 真由美	口腔外科学第二	1,000,000	補委	日本学術新興会
KPU-300併用放射線増感療法抵抗性な口腔癌細胞株の放射線抵抗因子に関する解析	奥山 紘平	口腔外科学第一	1,000,000	補委	日本学術新興会
骨系細胞分化と炎症性疾患でのリゾソーム転写因子の役割	米嶋 枝里香	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術新興会
医療材料へのバイオフィルム形成を抑制する新規コーティング材の開発	吉田 衣里	呼吸器外科	1,200,000	補委	日本学術新興会
In vitro肝細胞形態制御による高機能化肝グラフトの創製	小池 真章子	肝胆膵外科・肝移植外科	570,000	補委	日本学術新興会
難治性食道狭窄治療のための食道上皮再建技術の確立	中山 正彦	肝胆膵外科・肝移植外科	570,000	補委	日本学術新興会
機能化したバイオナノファイバー強化による歯科補綴材料の開発	田上 直美	特殊歯科総合治療部	150,000	補委	日本学術新興会
老化促進因子C1qによるWntシグナル活性化を基盤とした歯周炎発症機序の解明	原 宜興	歯科保存学第二	50,000	補委	日本学術新興会
アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	白石 裕一	リウマチ・膠原病内科	100,000	補委	日本学術新興会
アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	中田 るか	リウマチ・膠原病内科	100,000	補委	日本学術新興会
放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	梅田 正博	口腔外科学第一	50,000	補委	日本学術新興会
放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	五月女さき子	口腔外科学第一	50,000	補委	日本学術新興会
歯周病原細菌排除におけるカスパーゼの役割と炎症反応制御に関する研究	原 宜興	歯科保存学第二	50,000	補委	日本学術新興会
歯周病原細菌排除におけるカスパーゼの役割と炎症反応制御に関する研究	吉村 篤利	歯科保存学第二	50,000	補委	日本学術新興会
プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳循環の解明	田崎 修	救命救急センター	400,000	補委	日本学術新興会
尿管再生能を主体とする顎増殖治療の開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	100,000	補委	日本学術新興会
筋線維芽細胞と血管内皮前駆細胞の創傷治癒作用に着目した難治性顎骨壊死の治療法開発	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	400,000	補委	日本学術新興会
じん肺の診断基準及び手法に関する調査研究	芦澤 和人	臨床腫瘍科	8,800,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	31,024,000	補委	厚生労働省
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	柳原 克紀	検査部	9,200,000	補委	厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	福岡 順也	病理部	300,000	補委	厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	宇谷 厚志	皮膚科・アレルギー科	450,000	補委	厚生労働省

非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	6,500,000	補委	厚生労働省
HTLV-1母子感染予防に関する研究:HTLV-1抗体陽性母体からの出生児のコホート研究	森内 浩幸	小児科	400,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	500,000	補委	厚生労働省
特発性大脳脊髄液減少症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	補委	厚生労働省
肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築、運用、評価に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	1,200,000	補委	厚生労働省
難治性聴覚障害に関する調査研究	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	500,000	補委	厚生労働省
キャッスルマン病の疫学診療実態調査と患者団体支援体制の構築に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	50,000	補委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	宇谷 厚志	皮膚科・アレルギー科	3,710,000	補委	厚生労働省
我が国の関節リウマチ診療標準化のための研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	200,000	補委	厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	川上 純	リウマチ・膠原病内科	400,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	500,000	補委	厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的なあり方の確立に関する研究	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	250,000	補委	厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的なあり方の確立に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	250,000	補委	厚生労働省
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	泉川 公一	感染制御教育センター	500,000	補委	厚生労働省
脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	150,000	補委	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	補委	厚生労働省
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	300,000	補委	厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	高山 隼人	地域医療支援センター	150,000	補委	厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	松尾 朋博	泌尿器科	400,000	補委	厚生労働省
遺伝子変異に基づくFMR1インフラソーム病態解明と炎症制御に向けたトランスレーショナル研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	27,170,000	補委	日本医療研究開発機構
在宅医療に応用可能な遠隔医療システムの開発	永安 武	呼吸器外科	18,480,000	補委	日本医療研究開発機構
臨床データを元にした発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ(PKD)の発症機序の解明及び新規治療薬の開発	黒滝 直弘	精神神経科	9,880,000	補委	日本医療研究開発機構
遺伝性皮膚疾患における変異同定並びにナンセンス変異読み飛ばし試薬による治療法開発	宇谷 厚志	皮膚科・アレルギー科	9,880,000	補委	日本医療研究開発機構
真菌感染症の病態解明及び検査・治療薬の確立に関する研究	河野 茂	感染症内科	7,400,000	補委	日本医療研究開発機構
①生物学的製剤フリー寛解の関節エコーの解析②生物学的製剤フリー寛解の関節MRIの解析	川上 純	リウマチ・膠原病内科	1,500,001	補委	日本医療研究開発機構
HTLV-1検査法の標準化と診断指針作り	増崎 英明	産科婦人科	2,300,000	補委	日本医療研究開発機構
non-HIV populationにおけるクリプトコックス症の発症因子の臨床的解析とカンジダ症の新治療開発	泉川 公一	感染制御教育センター	800,000	補委	日本医療研究開発機構
シェーグレン症候群小唾液腺での自然免疫関連分子の発現検討	川上 純	リウマチ・膠原病内科	900,000	補委	日本医療研究開発機構

特発性間質性肺炎(病理診断の標準化)	福岡 順也	病理部	325,000	補 委	日本医療研究開発機構
HTLV-1陽性難治性疾患の病態解析研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	4,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
C、B型肝炎・肝移植臨床情報収集	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	400,000	補 委	日本医療研究開発機構
スクレオチド除去修復(NER)異常症(色素性乾皮症/コケイン症候群)の症例収集と診断	宇谷 厚志	皮膚科・アレルギー科	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
ゲノム不安定性疾患診断センターの設立	柳原 克紀	検査部	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
①リアルタイムPCR法等による尿中のCMV検出による先天性感染の確定診断技術の普及	森内 浩幸	小児科	6,610,500	補 委	日本医療研究開発機構
妊婦リスク診断法と中央検査体制の継続	増崎 英明	産科婦人科	819,000	補 委	日本医療研究開発機構
既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクリタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験	山口 博之	呼吸器内科	216,000	補 委	九州大学
成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100ツムラ大腸中腸(医療用)の有効性に関する検討-多施設共同による二重盲検無作為化比較臨床試験-	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	400,000	補 委	京都大学
原因診断に基づく小児難聴の治療・療育システム構築に関する研究	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	600,000	補 委	日本医療研究開発機構
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究):Japan Acute Myocardial Infarction Registry	前村 浩二	循環器内科	118,800	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
I型糖尿病モデルの作製、及び膵島細胞/間葉系幹細胞複合シート移植評価・術後管理	江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	36,044,970	補 委	日本医療研究開発機構
HIV感染症に伴う日和見合併症・悪性腫瘍の全国調査	泉川 公一	感染制御教育センター	800,000	補 委	日本医療研究開発機構
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	阿比留 教生	内分泌・代謝内科	300,000	補 委	国立国際医療センター
ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合によるHTLV-1関連疾患の診療支援全国ネットワークの確立	川上 純	リウマチ・膠原病内科	6,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
先天性代謝異常等検査精密児に係る受診指導等業務	伊達木 澄人	小児科	84,672	補 委	長崎県
WSIによるエキスパートダブルチェック(コンサルテーション)の診断精度を比較する研究、病理医および口腔病理医の育成研究	福岡 順也	病理部	760,000	補 委	日本医療研究開発機構
「AI等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像(P-WSI)の収集基盤整備と病理支援システム開発」	福岡 順也	病理部	1,900,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人における未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	2,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
HTLV-1検査法の標準化と診断指針作り	長谷川 寛雄	検査部	1,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法への適応拡大を目指した臨床研究	辻野 彰	脳神経内科	250,000	補 委	日本医療研究開発機構
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした前期第Ⅱ相臨床試験	金高 賢悟	胃・食道外科	1,600,000	補 委	日本医療研究開発機構
タウリン長期投与試験(治験責任医師)	白石 裕一	脳神経内科	500,000	補 委	日本医療研究開発機構
適格例の登録・治療・評価	今泉 芳孝	血液内科	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
臨床検体と臨床情報の収集と臨床病態との関連の研究	今泉 芳孝	血液内科	1,200,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する標準治療確立のための医師主導臨床試験	今泉 芳孝	血液内科	100,000	補 委	日本医療研究開発機構
食道癌における化学放射線療法例と術前化学療法例の生検組織と臨床病理情報の収集	松島 加代子	消化器内科	200,000	補 委	日本医療研究開発機構
造血細胞移植における新規予後予測モデルの構築、日本人における骨髄異形成症候群のゲノム異常の評価-DDX41 germline変異の探索	佐藤 信也	血液内科	650,000	補 委	日本医療研究開発機構

Stage II 結腸癌治療法例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法または XELOX 療法における 5-FU 系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第 III 相比較臨床試験 ACHIEVE Trial (JFMC47-1202-C3)	野中 隆	大腸・肛門科	32,400	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究—ダルベポエチンアルファ製剤低反応に関する検討— (BRIGHTEN)	西野 友哉	腎臓内科	259,200	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究—ダルベポエチンアルファ製剤低反応に関する検討— (BRIGHTEN)	西野 友哉	腎臓内科	172,800	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
再発危険因子を有する Stage II 大腸癌に対する UFT/LV 療法の臨床的有用性に関する研究 (JFMC46-1201)	藤田 文彦	肝胆膵外科・肝移植外科	216,000	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
再発危険因子を有する Stage II 大腸癌に対する UFT/LV 療法の臨床的有用性に関する研究 (JFMC46-1201)	野中 隆	大腸・肛門科	86,400	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
骨粗鬆症発症メカニズムの解明と創薬開発への試み	伊東 昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
2 型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3 (追跡)	小出 優史	循環器内科	300,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
高齢者化学療法未施行 IIIb/IV 期扁平上皮癌がんに対する nab-Paclitaxel + Carboplatin 併用療法と Docetaxel 単剤療法のランダム化第 III 相試験	山口 博之	呼吸器内科	216,000	補 委	独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター
新規薬物送達ナノカプセルの抗がん核酸医薬への応用	佐々木 均	薬剤部	1,700,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構

小計 9
計 258

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nishida A, Abiru H, Hayashi H, 他	放射線科	Clinicoradiological outcomes of 33 cases of surgically resected pulmonary pleomorphic carcinoma: correlation with prognostic indicators.	Eur Radiol. Jan;26(1):25-31,2016 (IF: 3.640)	Original Article
2	Ogawara D, Fukuda M, Ueno S, 他	呼吸器内科	Drug fever after cancer chemotherapy is most commonly observed on posttreatment days 3 and 4.	Support Care Cancer (2016) 24:615-619 (IF: 2.535)	Original Article
3	Moriishi T, Fukuyama R, Miyazaki T, 他	口腔外科	Overexpression of BCLXL in osteoblasts inhibits osteoblast apoptosis and increases bone volume and strength.	J Bone Miner Res 31(7): 1366-1380, 2016 (IF: 6.208)	Original Article
4	Tominaga T, Nonaka T, Takeshita H, 他	大腸・肛門外科	A case of intensive care unit-acquired weakness after emergency surgery for acute abdomen.	Int J Surg Case Rep 24: 131-134, 2016	Original Article
5	Kunizaki M, Sawai T, Takeshita H, 他	胃・食道外科	Clinical Value of Serum p53 Antibody in the Diagnosis and Prognosis of Colorectal Cancer.	Anticancer Res 36(8): 4171-4175, 2016 (IF: 1.895)	Original Article
6	Miyazaki T, Ota T, Okumura M, 他	呼吸器外科	De novo malignancy after lung transplantation in Japan.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64(9): 543-548, 2016	Original Article
7	Atsushi Nanashima, Takeshi Nagayasu:	肝胆膵外科・肝移植外科	Development and clinical usefulness of the liver hanging maneuver in various anatomical hepatectomy procedures.	Surg Today 46(4): 398-404, 2016 (IF: 1.329)	Original Article
8	Nanashima A, Hatachi G, Tominaga T, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Down-Regulation of Noggin-B Expression as a Newly Identified Feature of Intrahepatic Cholangiocarcinoma.	Tohoku J Exp Med 238(1): 9-16, 2016 (IF: 1.287)	Original Article
9	Tominaga T, Nonaka T, Sumida Y, 他	大腸・肛門外科	Effectiveness of adjuvant chemotherapy for elderly patients with lymph node-positive colorectal cancer.	World J Surg Oncol 14(1): 1-7, 2016 (IF: 1.286)	Original Article
10	Tominaga T, Takeshita H, Takagi K, 他	大腸・肛門外科	E-PASS score as a useful predictor of postoperative complications and mortality after colorectal surgery in elderly patients.	Int J Colorectal Dis 31(2): 217-225, 2016 (IF: 2.383)	Original Article
11	Tominaga T, Tsuchiya T, Mochinaga K, 他	大腸・肛門外科	Epidermal growth factor signals regulate dihydropyrimidine dehydrogenase expression in EGFR-mutated non-small-cell lung cancer.	BMC Cancer 16(1): 1-9, 2016 (IF: 3.265)	Original Article
12	Otsubo R, Hatachi T, Shibata K, 他	乳腺・内分泌外科	Evaluation of totally implantable central venous access devices with the cephalic vein cut-down approach: Usefulness of preoperative ultrasonography.	J Surg Oncol 113(1): 114-119, 2016 (IF: 3.151)	Original Article
13	Wada H, Matsuda K, Akazawa Y, 他	大腸・肛門外科	Expression of Somatostatin Receptor Type 2A and PTEN in Neuroendocrine Neoplasms Is Associated with Tumor Grade but Not with Site of Origin.	Endocr Pathol 27(3): 179-187, 2016 (IF: 1.817)	Original Article
14	Keitaro Matsumoto, Naoya Yamasaki, Tomoshi Tsuchiya, 他	呼吸器外科	Initial Experience of Multivision Thoracoscopic Surgery With Two Cameras: Dual-Vision VATS.	Surg Innov 23(4): 431-432, 2016 (IF: 1.358)	Letter
15	Tomoshige K, Tsuchiya T, Otsubo R, 他	呼吸器外科	Intraoperative diagnosis of lymph node metastasis in non-small-cell lung cancer by a semi-dry dot-blot method.	Eur J Cardiothorac Surg 49(2): 617-622, 2016 (IF: 2.803)	Original Article

小計 15

16	Miyazaki T, Sekai T, Sato S, 他	呼吸器外科	Is early postoperative administration of pregabalin beneficial for patients with lung cancer?—randomized control trial.	J Thorac Dis 8(12): 3572-3579, 2016 (IF: 1.649)	Original Article
17	Miyazaki T, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Management of unexpected intraoperative bleeding during thoroscopic pulmonary resection: a single institutional experience.	Surg Today 45(8): 90-907, 2016 (IF: 1.329)	Original Article
18	Goushi Murakami, Atsushi Nanashima, Takashi Nonaka, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Photodynamic Therapy Using Novel Glucose-conjugated Chlorin Increases Apoptosis of Cholangiocellular Carcinoma in Comparison with Talaporfin Sodium.	Anticancer Res 36(9): 4493-4501, 2016 (IF: 1.895)	Original Article
19	Miyazaki T, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Ratio of C-reactive protein to albumin is a prognostic factor for operable non-small-cell lung cancer in elderly patients.	Surg Today, Epub ahead of print, 2016 (IF: 1.329)	Original Article
20	Tominaga T, Nonaka T, Sumida Y, 他	大腸・肛門外科	The C-Reactive Protein to Albumin Ratio as a Predictor of Severe Side Effects of Adjuvant Chemotherapy in Stage III Colorectal Cancer Patients.	PloS one 11(12): e0167967, 2016 (IF: 3.057)	Original Article
21	Nagayasu T, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	The evolution of bronchoplasty and broncho-angioplasty as treatments for lung cancer: evaluation of 30 years of data from a single institution.	Eur J Cardiothorac Surg 49(1): 300-306, 2016 (IF: 2.803)	Original Article
22	Nagayasu T, Sato S, Yamamoto H, 他	呼吸器外科	The impact of certification of general thoracic surgeons on lung cancer mortality: a survey by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Eur J Cardiothorac Surg 49(5): e134-e140, 2016 (IF: 2.803)	Original Article
23	Hara R, Matsumoto K, Yamasaki N, 他	腫瘍外科	Two cases of lung herniation treated by surgery or observation.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64(10): 629-632, 2016	Original Article
24	Tominaga T, Takagi K, Takeshita H, 他	大腸・肛門外科	Usefulness of Three-Dimensional Printing Models for Patients with Stoma Construction.	Case Reports in Gastroenterology 10(1): 57-62, 2016	Original Article
25	Tsuchiya T, Mendez J, Calle EA, 他	呼吸器外科	Ventilation-Based Decellularization System of the Lung.	BioResearch Open Access 5(1): 118-126, 2016	Original Article
26	Hara T, Soyama A, Hidaka M, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Analysis of early re-laparotomy following living donor liver transplantation.	Liver Transpl.22(11): 1519-1525, 2016 (IF: 3.951)	Original Article
27	Moriuchi H, Yamaguchi J, Hayashi H, 他	小児外科	Cancer Cell Interaction with Adipose Tissue:Correlation with the Finding of Spiculation at Mammography.	Radiology. 279(1):56-64, 2016 (IF: 6.798)	Original Article
28	Natsuda K, Eguchi S, Takatsuki M, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	CD4 T lymphocyte counts in patients undergoing splenectomy during living donor liver transplantation.	Transpl Immunol 34:50-53, 2016 (IF: 1.317)	Original Article
29	Okada S, Azuma T, Kawashita Y, 他	移植・消化器外科	Clinical Evaluation of Hepatic Portal Venous Gas after Abdominal Surgery.	Case Rep Gastroenterol. 10(1): 99-107, 2016	Original Article
30	Inoue Y, Soyama A, Takatsuki M, 他	大腸・肛門外科	Does the Development of Chronic Kidney Disease and Acute Kidney Injury Affect the Prognosis after Living Donor Liver Transplantation?	Clin Transpl.30(5): 518-527, 2016 (IF: 3.427)	Original Article
31	Kitasato A, Kuroki T, Adachi T, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Duodenal tubular resection using laparoscopic-endoscopic cooperative surgery: A new technique for the treatment of duodenal lesions.	Asian J endosc Surg 9(1): 101-104, 2016	Original Article
32	Baimakhanov Z, Yamanouchi K, Sakai Y, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Efficacy of multi-layered hepatocyte sheet transplantation for radiation-induced liver damage and partial hepatectomy in a rat model.	Cell Transpl. 25(3): 549-558, 2016 (IF: 3.427)	Original Article
33	Matsushima H, Kuroki T, Adachi T, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Human fibroblast sheet promotes human pancreatic islet survival and function in vitro.	Cell Transpl.25(8): 1525-1537, 2016 (IF: 3.427)	Original Article
34	Takatsuki M, Tokunaga S, Uchida S, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Kyushu Study Group of Clinical Cancer (KSCC): Evaluation of resectability after neoadjuvant chemotherapy for primary non-resectable colorectal liver metastases: A multicenter study.	Eur J Surg Oncol. 42(2): 184-189, 2016 (IF: 2.940)	Original Article

35	Soyama A, Eguchi S, Egawa H;	肝胆膵外科・肝移植外科	Liver Transplantation in Japan.	Liver Transpl. 22(10): 1401-1407, 2016 (IF: 3.951)	Original Article
36	Eguchi S, Furukawa H, Uemoto S, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Outcomes of Living Donor Liver Transplantation Alone for Patients on Maintenance Renal Replacement Therapy in Japan: Results of a Nationwide Survey.	Transplant Direct. 2(6): e74, 2016	Original Article
37	Kobayashi S, Soyama A, Takatsuki M, 他	大腸・肛門外科	Relationship between immune function recovery and infectious complications in patients following living donor liver transplantation.	Hepatol Res. 46(9): 908-915, 2016 (IF: 2.205)	Original Article
38	Soyama A, Eguchi S;	肝胆膵外科・肝移植外科	The current status and future perspectives of organ donation in Japan: learning from the systems in other countries.	Surg Today, 46(4): 387-392, 2016 (IF: 1.329)	Original Article
39	Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	The first case of deceased donor liver transplantation for a patient with end-stage liver cirrhosis due to human immunodeficiency virus and hepatitis C virus coinfection in Japan.	Jpn J Infect Dis 69(1): 80-82, 2016 (IF: 1.140)	Original Article
40	Kobayashi S, Kanai N, Tanaka N, 他	大腸・肛門外科	Transplantation of epidermal cell sheets by endoscopic balloon dilatation to avoid esophageal re-strictures: initial experience in a porcine model.	Endosc Int Open 4(11): E1116-E1123, 2016	Original Article
41	Kuroshima N, Tanaka T, Kuroki T, 他	移植・消化器外科	Triple-drug therapy to prevent pancreatic fistula after pancreatectomy in a rat model.	Pancreatol. 15(5): 917-921, 2016 (IF: 2.405)	Original Article
42	Zhang S, Li TS, Soyama A, 他	移植・消化器外科	Up-regulated extracellular matrix components and inflammatory chemokines may impair the regeneration of cholestatic liver.	Sci Rep. 6(26540), 2016 (IF: 5.228)	Original Article
43	Mohamed YH, Uematsu M, Onizuka N, 他	眼科	Acute Corneal Toxicity of Combined Antiglaucoma Topical Eyedrops.	Curr Eye Res 41: 1326-1336, 2016 (IF: 2.025)	Original Article
44	Mohamed YH, Uematsu M, Ueki R, 他	眼科	Acute Corneal Toxicity of Diquas.	Pharmacology 98: 56-61, 2016 (IF: 1.533)	Original Article
45	Uematsu M, Mohamed YH, Onizuka N, 他	眼科	Acute corneal toxicity of latanoprost with different preservatives.	Cutan Ocul Toxicol. 35: 120-125, 2016 (IF: 1.119)	Original Article
46	Kinoshita H, Suzuma K, Kaneko J, 他	眼科	Induction of Functional 3D Ciliary Epithelium-Like Structure From Mouse Induced Pluripotent Stem Cells.	Invest Ophthalmol Vis Sci 57: 153-61, 2016 (IF: 3.427)	Original Article
47	Uematsu M, Mohamed YH, Onizuka N, 他	眼科	Less Invasive Corneal Transepithelial Electrical Resistance Measurement Method.	Ocul Surf 14: 37-42, 2016 (IF: 4.477)	Original Article
48	Mohamed YH, Ono K, Kinoshita H, 他	眼科	Success Rate of Vitrectomy in Treatment of Rhegmatogenous Retinal Detachment.	J Ophthalmol (https://www.hindawi.com/journals/joph/). 2016 (IF: 1.463)	Original Article
49	Yamano S, Shimizu K, Ogura H, 他	救命救急センター	Low total cholesterol and high total bilirubin are associated with prognosis in patients with prolonged sepsis.	J Crit Care 31(1):36-40, 2016. (IF: 2.588)	Original Article
50	Hayashida K, Fujioka M, Morooka S, 他	形成外科	Effectiveness of basic fibroblast growth factor for pediatric, hand burns.	J Tissue Viability. 25(4):220-224, 201 (IF: 1.656)	Original Article
51	Yoshida S, Yoshimoto H, Hirano A and Akita S.	形成外科	Wound healing and angiogenesis through combined use of a vascularized tissue flap and adipose-derived stem cells in a rat hindlimb irradiated ischemia model.	Plast Reconstr Surg. 137: 1486-97, 2016. (IF: 3.087)	Original Article
52	Akita S, Yoshimoto H, Tanaka K, 他	形成外科	Silver Sulfadiazine-Impregnated Hydrocolloid Dressing Is Beneficial in Split-Thickness Skin-Graft Donor Wound Healing in a Small Randomized Controlled Study.	Int J Low Extrem Wounds. 2016 Nov 6. pii: 1534734616670988. [Epub ahead of print] (IF: 1.366)	Original Article
53	Kitaoka K, Takahashi H;	耳鼻咽喉科	Negative pressure produced by bacteria: a possible cause of negative middle ear pressure in ears with otitis media.	Acta Med Nagasaki 60: 141-144, 2016	Original Article

54	Yoshida H, Takahashi H, Kanda Y, Chiba K:	耳鼻咽喉科	PET-CT observations of cortical activity in pre-lingually deaf adolescent and adult patients with cochlear implantation.	Acta Otolaryngol 14: 1-7, 2016 (IF: 1.127)	Original Article
55	Watanabe T, Kaneko K, Sakaguchi K, Takahashi H:	耳鼻咽喉科	Vocal-fold vibration of patients with Reinke's edema observed using high-speed digital imaging.	Auris Nasus Larynx 43(6): 654-657, 2016 (IF: 1.038)	Original Article
56	Kawano H, Inoue K, Matsumoto Y, 他	循環器内科	Calcification around the Struts of a Sirolimus-eluting Stent Approximately 16 Months after Implantation in an Autopsy Case.	Intern Med 55(4): 353-358, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
57	Tsuneto A, Eishi K, Miura T, 他	循環器内科	Comparison of saddle-shape flexibility and elliptical-shape stability between Cosgrove-Edwards and Memo-3D annuloplasty rings using three-dimensional analysis software.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64(6): 325-332, 2016	Original Article
58	Kawano H, Maemura K:	循環器内科	Edoxaban Was Effective for the Treatment of Deep Vein Thrombosis and Pulmonary Thromboembolism in a Cancer Patient with Antithrombin III Deficiency.	Intern Med 55(22): 3285-3289, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
59	Kawano H, Kawamura K, Ishijima M, 他	循環器内科	Myocardial fragmentation associated with disruption of the Z-band in hypertrophic cardiomyopathy in Noonan syndrome.	Cardiovasc Pathol 25(4): 329-332, 2016 (IF: 2.190)	Original Article
60	Haruta D, Akahoshi M, Hida A, 他	循環器内科	Prognostic Significance of Premature Ventricular Contractions without Obvious Heart Diseases Determined by Standard 12-Lead Electrocardiography Considering their Morphology.	Ann Noninvasive Electrocardiol 21(2): 142-151, 2016 (IF: 1.569)	Original Article
61	Motomura H, Yokokawa M, Fukunaga H, 他	小児科	Anomalous origin of the right coronary artery: First familial cases in Asia.	Pediatr Int 58(11): 1232-1234, 2016.11 (IF: 0.868)	Original Article
62	Kondo Y, Ogura Y, Sato K, 他	小児歯科	Complete Genome Sequence of Streptococcus sp.	Strain NPS 308. Genome Announc 4(6): e01349-16, 2016.12	Original Article
63	Watanabe S, Shimizu K, Ohashi H, 他	小児科	Detailed analysis of 26 cases of 1q partial duplication/triplication syndrome.	Am J Med Genet A. 170A(4):908-17, 2016.4 (IF: 2.082)	Original Article
64	Dateki S, Watanabe S, Nakatomi A, 他	小児科	Genetic background of hyperphenylalaninemia in Nagasaki, Japan.	Pediatr Int 58(5):431-3, 2016.5 (IF: 0.868)	Original Article
65	Araki T, Takashima A, Hamaguchi T, 他	消化器内科	Anrubicin in patients with platinum-refractory metastatic neuroendocrine carcinoma and mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the gastrointestinal tract.	Anticancer Drugs 27(6): 794-799, 2016 (IF: 2.268)	Original Article
66	Takeshima F, Yoshikawa D, Higashi S, 他	消化器内科	Clinical efficacy of adalimumab in Crohn's disease: a real practice observational study in Japan.	BMC Gastroenterol 16(1): 82, 2016 (IF: 2.101)	Original Article
67	Miura S, Ichikawa T, Miyaaki H, 他	消化器内科	Efficacy and Tolerability of Pegylated Interferon and Ribavirin in Combination with Simeprevir to Treat Hepatitis C Virus Infections After Living Donor Liver Transplantation.	J Interferon Cytokine Res 36(6): 358-366, 2016 (IF: 2.135)	Original Article
68	Katsura E, Ichikawa T, Taura N, 他	消化器内科	Elevated Fasting Plasma Glucose before Liver Transplantation is Associated with Lower Post-Transplant Survival.	Med Sci Monit 22: 4707-4715, 2016 (IF: 1.405)	Original Article
69	Minami H, Tabuchi M, Matsushima K, 他	消化器内科	Endoscopic submucosal dissection of the pharyngeal region using anchored hemoclip with surgical thread: A novel method.	Endosc Int Open 4(6): E828-E831, 2016	Original Article
70	Fukuda H, Yamaguchi N, Isomoto H, 他	消化器内科	Polyglycolic Acid Felt Sealing Method for Prevention of Bleeding Related to Endoscopic Submucosal Dissection in Patients Taking Antithrombotic Agents.	Gastroenterol Res Pract (http://dx.doi.org/10.1155/2016/1457357 Volume 2016 (2016), Article ID 1457357, 7 pages), 2016 (IF: 1.742)	Original Article
71	Uchida S, Miyaaki H, Ichikawa T, 他	消化器外科	Risk factors for osteoporosis in patients with end-stage liver disease.	Biomed Rep 5(5): 629-633, 2016	Original Article
72	Yoshimura E, Ichikawa T, Miyaaki H, 他	消化器外科	Screening for minimal hepatic encephalopathy in patients with cirrhosis by cirrhosis-related symptoms and a history of overt hepatic encephalopathy.	Biomed Rep 5(2): 193-198, 2016	Original Article

73	Miyaaki H, Ichikawa T, Taura N, 他	消化器外科	Significance of Hepatic Insulin Clearance in Patients with Chronic Hepatitis C and Non-alcoholic Fatty Liver Disease.	Intern Med 55(9): 1049-1054, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
74	Kanetaka K, Minami H, Kuroki T, 他	胃・食道外科	Successful resection of large esophageal leiomyoma by a combined thoracoscopic-endoscopic submucosal tunneling method.	Gastrointest Endosc 83(5): 1027-1028, 2016 (IF: 6.217)	Original Article
75	Hideaka M, Eguchi S, Takatsuki M, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	The Kupffer Cell Number Affects the Outcome of Living Donor Liver Transplantation from Elderly Donors.	Transplant Direct 2(8): e94, 2016	Original Article
76	Ichikawa T, Taura N, Miyaaki H, 他	消化器内科	β -cell function prior to liver transplantation contributes to post-operative diabetes.	Biomed Rep 6(6): 749-757, 2016	Original Article
77	Takashi Miura, Kazuyoshi Tanigawa, Seiji Matsukuma, 他	心臓血管外科	A right thoracotomy approach for mitral and tricuspid valve surgery in patients with a re-sternotomy approach.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64: 315-324 2016	Original Article
78	Kikuko Obase, Karima Addetia, Kazuo Takahashi, 他	心臓血管外科	Double-Orifice Tricuspid Valve Visualized by Three-Dimensional Transthoracic Echocardiography.	J Cardiovasc Ultrasound 24(3): 253-255 2016	Original Article
79	Kazuki Hisatomi, Koji Hashizume, Kazuyoshi Tanigawa, 他	心臓血管外科	Free-floating left atrial ball thrombus after mitral valve replacement with patent coronary artery bypass: successful removal by a right minithoracotomy approach without aortic cross-clamp.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64: 333-336 2016	Original Article
80	Mizuki Sumi, Koji Hashizume, Takashi Miura, 他	心臓血管外科	Surgical repair of Pulmonary artery dissection in a patient with 10-year history of Takayasu's arteritis.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64: 745-748, 2016	Original Article
81	Mizuki Sumi, Tsuneo Ariyoshi, Seiji Matsukuma, 他	心臓血管外科	Surgical technique of double valve replacement in a patient with osteogenesis imperfecta.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64: 220-223 2016	Original Article
82	Seiji Matsukuma, Kiyoyuki Eishi, Kazuyoshi Tanigawa, 他	心臓血管外科	Swinging Calcified Amorphous Tumors With Related Mitral Annular Calcification.	Ann Thorac Surg 101: e103-e105 2016 (IF: 3.021)	Original Article
83	Doi H, Shinohara K.	循環器内科	Attention allocation towards own face is pronounced during middle adolescence: an eye-tracking study.	Dev Sci. 2016 (IF: 3.982)	Original Article
84	Doi H, Shinohara K.	循環器内科	Emotional faces influence numerosity estimation without awareness.	Cogn Process.17:389-397, 2016 (IF: 1.340)	Original Article
85	Sawano E, Doi H, Nagai T, 他	循環器内科	Interactive effects of 5-HTTLPR genotype and rearing environment on affective attitude towards own infant in Japanese mothers.	Behav Brain Res. S0166-4328(16)30982-2. 2016 (IF: 3.002)	Original Article
86	Doi H, Morikawa M, Inadomi N, 他	循環器内科	Neural correlates of babyish adult face processing in men.	Neuropsychologia. S0028-3932(17)30023-4, 2017 (IF: 2.989)	Original Article
87	Tatsuya Sakai, Masahiro Izumi, Kenji Kumagai, 他	整形外科	Effects of a Foot Pump on the Incidence of Deep Vein Thrombosis After Total Knee Arthroplasty in Patients Given Edoxaban: A Randomized Controlled Study.	Medicine (Baltimore). 95(1):e2247, 2016 (IF: 2.133)	Original Article
88	Ritsu Tsujimoto, Yasuyo Abe, Kazuhiko Arima, 他	整形外科	Prevalence of lumbar spondylosis and its association with low back pain among community-dwelling Japanese women.	BioMed Central musculoskelet Disord. 2016 17(1):493, 2016 (IF: 1.684)	Original Article
89	Masahiro Izumi, Tatsuya Sakai, Atsunori Shirakawa, 他	整形外科	Reduced induction of anti-PF4/heparin antibody in RA patients after total knee arthroplasty.	Arthritis Research & Therapy 18:191, 2016 (IF 3.979)	Original Article
90	Tatsuya Fukushima, Akira Hozumi, Masato Tomita, 他	整形外科	Steroid changes adipokine concentration in the blood and bone marrow fluid.	SBiomed Research 37(3):215-220, 2016 (IF: 2.134)	Original Article
91	Kawashiri SY, Nishino A, Suzuki T, 他	リウマチ・膠原病内科	Rapid Improvement of Clinical Disease Activity Index (CDAI) at 3 months predicts a preferable CDAI outcome at 1 year in active rheumatoid arthritis patients treated with tocilizumab: results from an observational investigation of daily clinical practice.	Clin Exp Rheumatol 34(5): 808-812, 2016 (IF: 2.495)	Original Article

92	Kawashiri SY, Nishino A, Nakamura H, 他	リウマチ・膠原病内科	The stiff elastographic change of submandibular glands rapidly improves after the introduction of glucocorticoid treatment in patients with IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis.	Mod Rheumatol 26(3): 463-4, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
93	Kuba S, Ishida M, Oikawa M, 他	乳腺・内分泌外科	Aromatase inhibitors with or without luteinizing hormone-releasing hormone agonist for metastatic male breast cancer: report of four cases and review of the literature.	Breast Cancer. 23(6):945-949, 2016. (IF: 1.412)	Original Article
94	Kuba S, Yamanouchi K, Hayashida N, 他	乳腺・内分泌外科	Total Thyroidectomy versus Thyroid Lobectomy for Papillary Thyroid Cancer: Comparative Analysis after Propensity Score Matching: A Multicenter Study.	Int J Surg. 2016 (IF: 2.202)	Original Article
95	Yoshimura S, Nakamura H, Horai Y, 他	脳神経内科	Abnormal distribution of AQP5 in labial salivary glands is associated with poor saliva secretion in patients with Sjogren's syndrome including neuromyelitis optica complicated patients.	Mod Rheumatol. 26(3):384-390, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
96	Nakamura H, Iwamoto N, Matsumoto T, 他	リウマチ・膠原病内科	An effective medical partnership in Nagasaki, Japan for patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 1-7, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
97	Fukui S, Iwamoto N, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Antineutrophilic cytoplasmic antibody-associated vasculitis with hypocomplementemia has a higher incidence of serious organ damage and a poor prognosis.	Medicine. 95(37): e4871, 2016. (IF: 2.133)	Original Article
98	Nishino A, Kawashiri S Y, Shimizu T, 他	リウマチ・膠原病内科	Assessment of both articular synovitis and tenosynovitis by ultrasound is useful for evaluations of hand dysfunction in early rheumatoid arthritis patients.	Mod Rheumatol. 1-4, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
99	Koga T, Migita K, Kawakami A.	リウマチ・膠原病内科	Biologic therapy in familial Mediterranean fever.	Mod Rheumatol. 26(5):637-641, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
100	Yasui J, Kawasak, E, Tanaka S, 他	内分泌・代謝内科	Clinical and Genetic Characteristics of Non-Insulin-Requiring Glutamic Acid Decarboxylase (GAD) Autoantibody-Positive Diabetes:	A Nationwide Survey in Japan PLoS One (11): e0155643, 2016. (IF: 3.057)	Original Article
101	Tateishi Y, Tagami A, Baba H, 他	脳神経内科	Duplex Ultrasonography-Detected Positional Vertebral Artery Occlusion in Upper Cervical Rheumatoid Arthritis.	Spine. 41(1):26-31, 2016. (IF: 2.660)	Original Article
102	Fukui S, Iwamoto N, Mochizuki Y, 他	リウマチ・膠原病内科	Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis with funiculitis and myelitis.	International journal of rheumatic diseases. 1-3, 2016. (IF: 1.914)	Original Article
103	Tomonaga M, Sakamoto N, Ishimatsu Y, 他	感染症内科	Erratum to: Comparison of Pulmonary Involvement Between Patients Expressing Anti-PL-7 and Anti-Jo-1 Antibodies.	Lung. 194(5):869, 2016 (IF: 2.000)	Original Article
104	Iwamoto N, Fukui S, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Evaluation of switching from intravenous to subcutaneous formulation of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 26(5):662-666, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
105	Koga T, Fukushima C, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Familial Mediterranean fever complicated with refractory asthma: Successful treatment with colchicine.	Mod Rheumatol. 27(1):182-183, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
106	Fukui S, Iwamoto N, Shimizu T, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Fewer subsequent relapses and lower levels of IL-17 in Takayasu arteritis developed after the age of 40 years.	Arthritis Res Ther. 18(1):293, 2016. (IF: 3.979)	Original Article
107	Umeda M, Ikenaga J, Koga T, 他	リウマチ・膠原病内科	Giant Cell Arteritis which Developed after the Administration of Granulocyte-colony Stimulating Factor for Cyclic Neutropenia.	Intern Med. 55(16):2291-2294, 2016. (IF: 0.832)	Original Article
108	Yokoyama S, Ohno Y, Egawa T, 他	リハビリテーション部	Heat shock transcription factor 1-associated expression of slow myosin heavy chain in mouse soleus muscle in response to unloading with or without reloading.	Acta Physiol. 217(4):325-337, 2016. (IF: 4.055)	Original Article
109	Koga T, Mizokami A, Nakashima M, 他	リウマチ・膠原病内科	Histological improvement in salivary gland along with effector memory Th17-1 cell reduction in a primary Sjogren's syndrome patient with dermatomyositis and diffuse large B-cell lymphoma by R-CHOP therapy.	Clin Immunol. 165:35-37, 2016. (IF: 4.034)	Original Article
110	Fukui S, Ichinose K, Tsuji S, 他	リウマチ・膠原病内科	Hypocholesterolemia predicts relapses in patients with Takayasu arteritis	Mod Rheumatol 26(3):415-420, 2016. (IF: 1.843)	Original Article

111	Ichinose K, Araki S, Takatani A, 他	脳神経内科	IgG4-Related Disease With an Aortoduodenal Fistula After Abdominal Aortic Aneurysm Repair.	Arthritis Rheumatol. 68(9):2256, 2016. (IF: 8.955)	Original Article
112	Mukaino A, Nakane S, Higuchi O, 他	脳神経内科	Insights from the ganglionic acetylcholine receptor autoantibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Mod Rheumatol. 26(5):708-715, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
113	Shigeno R, Horie I, Ando T, Abiru N, 他	内分泌・代謝内科	Low-carbohydrate diet combined with SGLT2 inhibitor for refractory hyperglycemia caused by insulin antibodies.	Diabetes Res Clin Pract. 116:43-45, 2016. (IF: 3.045)	Original Article
114	Ichinose K, Ushigusa T, Nishino A, 他	脳神経内科	Lupus Nephritis IgG Induction of Calcium/Calmodulin-Dependent Protein Kinase IV Expression in Podocytes and Alteration of Their Function.	Arthritis Rheumatol. 68(4):944-952, 2016. (IF: 8.955)	Original Article
115	Nakashima Y, Tamai M, Kita J, 他	リウマチ・膠原病内科	Magnetic Resonance Imaging Bone Edema at Enrollment Predicts Rapid Radiographic Progression in Patients with Early RA: Results from the Nagasaki University Early Arthritis Cohort.	J Rheumatol. 43(7):1278-1284, 2016. (IF: 3.236)	Original Article
116	Koga T, Migita K, Sato S, 他	リウマチ・膠原病内科	Multiple Serum Cytokine Profiling to Identify Combinational Diagnostic Biomarkers in Attacks of Familial Mediterranean Fever.	Medicine. 95(16): e3449, 2016. (IF: 2.133)	Original Article
117	Ichinose K, Arima K, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Predictors of clinical outcomes in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Cytokine 79:31-37, 2016. (IF: 2.940)	Original Article
118	Nozaki A, Ando T, Akazawa S, 他	内分泌・代謝内科	Quality of life in the patients with central diabetes insipidus assessed by Nagasaki Diabetes Insipidus Questionnaire.	Endocrine. 51(1):140-147, 2016. (IF: 3.279)	Original Article
119	Takagi Y, Sumi M, Nakamura H, 他	麻酔・生体管理科	Salivary gland ultrasonography as a primary imaging tool for predicting efficacy of xerostomia treatment in patients with Sjögren's syndrome.	Rheumatology. 55(2):237-245, 2016. (IF: 4.524)	Original Article
120	Ushigusa T, Ichinose K, Sato S, 他	リウマチ・膠原病内科	Soluble alpha-klotho is a potential biomarker associated with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Clin Immunol. 165:29-34, 2016. (IF: 4.034)	Original Article
121	Koga T, Kawashiri S Y, Nakao K, 他	リウマチ・膠原病内科	Successful ledipasvir + sofosbuvir treatment of active synovitis in a rheumatoid arthritis patient with hepatitis C virus-related mixed cryoglobulinemia.	Mod Rheumatol. 1-2, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
122	Umeda M, Kawashiri S Y, Nishino A, 他	リウマチ・膠原病内科	Synovitis of sternoclavicular and peripheral joints can be detected by ultrasound in patients with SAPHO syndrome.	Mod Rheumatol. 1-5, 2016. (IF: 1.843)	Original Article
123	Koga T, Ichinose K, Tsokos G C.	リウマチ・膠原病内科	T cells and IL-17 in lupus nephritis.	Clin Immunol. pages: 5; 4C., 2016. (IF: 4.034)	Original Article
124	Fukui S, Hirota S, Iwamoto N, 他	リウマチ・膠原病内科	Takayasu Arteritis With Antiphosphatidylserine/Prothrombin Antibody-Positive Antiphospholipid Syndrome: Case Report and Literature Review.	Medicine. 94(51): e2345, 2016. (IF: 2.133)	Original Article
125	Origuchi T, Fukui S, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	The Severity of Takayasu Arteritis Is Associated with the HLA-B52 Allele in Japanese Patients.	Tohoku J Exp Med. 239(1):67-72, 2016. (IF: 1.287)	Original Article
126	Nakamura H, Kawakami A.	リウマチ・膠原病内科	What is the evidence for Sjögren's syndrome being triggered by viral infection? Subplot: Infections that cause clinical features of Sjögren's syndrome.	Curr Opin Rheumatol. 28(4):390-397, 2016. (IF: 4.227)	Original Article
127	Kasai T, Nakamura Y, Fukuda M, 他	感染症内科	A phase II study of S-1 for previously untreated elderly patients with advanced non-small cell lung cancer.	Chemotherapy 61(2): 93-8, 2016 (IF: 0.992)	Original Article
128	Muta K, Obata Y, Oka S, 他	腎臓内科	Curcumin ameliorates nephrosclerosis via suppression of histone acetylation independent of hypertension.	Nephrol Dial Transplant. 31(10): 1615-23, 2016 (IF: 4.085)	Original Article
129	Mizoguchi K, Nakamura Y, Sano K, 他	呼吸器内科	Pharmacokinetic parameters of gefitinib predict efficacy and toxicity in patients with advanced non-small cell lung cancer harboring EGFR mutations.	Cancer Chemother Pharmacol 72(2): 377-382, 2016 (IF: 2.824)	Original Article

130	Harada T, Ishimatsu Y, Hara A, 他	呼吸器内科	Premedication with clarithromycin is effective against secondary bacterial pneumonia during influenza virus infection in a pulmonary emphysema mouse model.	J Pharmacol Exp Ther 358(3): 457-463, 2016 (IF: 3.760)	Original Article
131	Kakugawa T, Sakamoto N, Sato S, 他	呼吸器内科	Risk factors for an acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Res 17: 79-79, 2016 (IF: 3.751)	Original Article
132	Nishikawa H, Miyazaki T, Nakayama H, 他	呼吸器内科	Roles of vacuolar H ⁺ -ATPase in the oxidative stress response of <i>Candida glabrata</i> .	FEMS Yeast Res 16(5): fow054, 2016 (IF: 2.479)	Original Article
133	Ashizawa N, Nakamura S, Ide S, 他	呼吸器内科	Successful Treatment of Aspergillus Empyema Using Open Window Thoracotomy Salvage Treatment and the Local Administration of an Antifungal Agent.	Intern Med 55(15): 2093-2099, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
134	Nakamura S, Iwanaga N, Seki M, 他	呼吸器内科	Toll-like receptor 4 agonistic antibody promotes host defence against chronic <i>Pseudomonas aeruginosa</i> lung infection in mice.	Infect Immun 84(7): 1986-1993, 2016 (IF: 3.603)	Original Article
135	Obase Y, Shimoda T, Kishikawa R, 他	呼吸器内科	Trigger of bronchial hyperresponsiveness development may not always need eosinophilic airway inflammation in very early stage of asthma.	Allergy Rhinol (Providence) 7(1): 1-7, 2016 (IF: 0)	Original Article
136	Horie N, Tateishi Y, Morikawa M, 他	脳神経外科	Acute stroke with major intracranial vessel occlusion: Characteristics of cardioembolism and atherosclerosis-related in situ stenosis/occlusion.	J Clin Neurosci 32: 24-29, 2016 (IF: 1.387)	Original Article
137	Fukuda S, Nakagawa S, Tatsumi R, 他	脳神経外科	Glucagon-Like Peptide-1 Strengthens the Barrier Integrity in Primary Cultures of Rat Brain Endothelial Cells Under Basal and Hyperglycemia Conditions.	J Mol Neurosci 59(2): 211-219, 2016 (IF: 2.352)	Original Article
138	Baba S, Onga K, Kakizawa S, 他	脳神経外科	Involvement of the neuronal phosphotyrosine signal adaptor N-Shc in kainic acid-induced epileptiform activity.	Sci Rep. 6: 27511, 2016 (IF: 5.228)	Original Article
139	Fujimoto T, Morofuji Y, Horie N, 他	脳神経外科	One Cause of Secondary Hypertension: Neurogenic Etiology.	Circulation 133(20): 1985-1986, 2016 (IF: 17.202)	Original Article
140	Yamaguchi S, Horie N, Hayashi K, 他	脳神経外科	Point-by-point parent artery/sinus obliteration using detachable, pushable, 0.035-inch coils.	Acta Neurochir 168(11): 2089-2094, 2016 (IF: 1.617)	Original Article
141	Tateishi Y, Hamabe J, Kanamoto T, 他	脳神経外科	Subacute lesion volume as a potential prognostic biomarker for acute ischemic stroke after intravenous thrombolysis.	J Neurol Sci. Vol.369: 77-81, 2016 (IF: 2.126)	Original Article
142	Shida Y, Hakariya T, Takahara K, 他	泌尿器科・腎移植外科	Comparison Between a Combined Transrectal and Transperineal Approach and a Transrectal Approach for Prostate Rebiopsy.	Anticancer Res. 36(9): 4685-4690, 2016 (IF: 1.895)	Original Article
143	Miyata Y, Sakai H:	泌尿器科・腎移植外科	Editorial Comment from Dr. Miyata and Dr. Sakai to Impact of multimodal treatment on prognosis for patients with metastatic upper urinary tract urothelial cancer: Subanalysis of the multi-institutional nationwide case series study of the Japanese Urological Association.	Int J Urol. 23(3): 230-231, 2016 (IF: 1.878)	Original Article
144	Mitsunari K, Miyata Y, Asai A, 他	泌尿器科・腎移植外科	Human antigen R is positively associated with malignant aggressiveness via upregulation of cell proliferation, migration, and vascular endothelial growth factors and cyclooxygenase-2 in prostate cancer.	Transl Res.175:116-128, 2016 (IF: 4.557)	Original Article
145	Miyata Y, Sakai H:	泌尿器科・腎移植外科	Response to Re: Reconsideration of the clinical and histopathological significance of angiogenesis in prostate cancer: Usefulness and limitations of microvessel density measurement.	Int J Urol. 23(1): 105-106, 2016 (IF: 1.878)	Original Article
146	Matsuo T, Miyata Y, Kakoki K, 他	泌尿器科・腎移植外科	The efficacy of mirabegron additional therapy for lower urinary tract symptoms after treatment with α 1-adrenergic receptor blocker monotherapy: prospective analysis of elderly men.	BMC Urol. 16(1):45,2016 (IF: 1.606)	Original Article
147	Kuwatsuka S, Kuwatsuka Y, Takenaka M, 他	皮膚科・アレルギー科	Case of photosensitivity caused by fenofibrate after photosensitization to ketoprofen.	J Dermatol, 43(2): 224-225, 2016 (IF: 1.577)	Original Article
148	Koike Y, Utani A:	皮膚科・アレルギー科	Generalized Hyperkeratotic Plaques in a Baby with a Milk Allergy.	Pediatr Dermatol, 33(4): 457-8, 2016 (IF: 1.163)	Original Article

149	Murayama N, Koike Y, Ikehara S, 他	皮膚科・アレルギー科	Is bevacizumab a culprit of intractable skin ulcers?	J Dermatol, 43(8): 972-4, 2016 (IF: 1.577)	Original Article
150	Honda M, Tomimura S, de Vega S, 他	皮膚科・アレルギー科	Multiple dermatofibromas in a patient with Down syndrome.	J Dermatol, 43(3): 346-348, 2016 (IF: 1.577)	Original Article
151	Ashida M, Koike Y, Kuwatsuka S,	皮膚科・アレルギー科	Psoriasis-like lesions in a patient with familial Mediterranean fever.	J Dermatol, 43(3): 314-317, 2016 (IF: 1.577)	Original Article
152	Koga T, Okada A, Fukuda T, 他	リウマチ・膠原病内科	Prognostic Factors Toward clinically relevant radiographic progression in patients with rheumatoid arthritis in clinical practice: a Japanese multicenter, prospective longitudinal cohort study for achieving a treat-to-target strategy.	Medicine (Baltimore). 95:e3476, 2016	Original Article
153	Koga T, Sato T, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Successful treatment of palmoplantar pustulosis with rheumatoid arthritis, with tofacitinib: Impact of this JAK inhibitor on T-cell differentiation.	Clin Immunol.173:147-148, 2016	Original Article
154	Mursalin R, Sakamoto I, Nagayama H 他	放射線科	Imaging-based predictors of persistent type II endoleak after endovascular abdominal aortic aneurysm repair.	Am J Roentgenol 206:1335-1340, 2016 (IF: 2.660)	Original Article
155	Koike H, Sueyoshi E, Sakamoto I 他	放射線科	Quantification of lung perfusion blood volume (lung PBV) by dual-energy CT in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension (CTEPH) before and after balloon pulmonary angioplasty (BPA): Preliminary results.	Eur J Radiol 65:1607-1612, 2016x (IF: 2.593)	Original Article
156	Kawahara Y, Yamaguchi T, Honda Y, 他	放射線科	The ulnar nerve at elbow extension and flexion: assessment of position and signal intensity on MR images.	Radiology 280:483-492, 2016 (IF: 6.798)	Original Article
157	Sakai T, Murata H, Hara T:	麻酔科	A case of scrotal pain associated with genitofemoral nerve injury following cystectomy.	J Clin Anesth 32: 150-152, 2016 (IF: 1.284)	Original Article
158	Murata H, Hida K, Hara T:	麻酔科	Reply to Dr Del Buono et al.	Reg Anesth Pain Med 41 (6): 792, 2016 (IF: 3.459)	Original Article
159	Hayashida S, Funahara M, Sekino M, 他	口腔外科	The effect of tooth brushing, irrigation, and topical tetracycline administration on the reduction of oral bacteria in mechanically ventilated patients: a preliminary study.	BMC Oral Health 16 (1): 67, 2016 (IF: 1.210)	Original Article
160	Ishii K, Makita T, Yamashita H, 他	麻酔科	Total intravenous anesthesia with propofol is associated with a lower rate of postoperative delirium in comparison with sevoflurane anesthesia in elderly patients.	J Clin Anesth 33: 428-431, 2016 (IF: 1.284)	Original Article
161	Murata H, Hida K, Hara T:	麻酔科	Transverse thoracic muscle plane block: Tricks and tips to accomplish the block.	Reg Anesth Pain Med 41 (3): 411-412, 2016 (IF: 3.459)	Original Article
162	D My-Nhi, N Tien Huy, K Chyama, 他	感染症内科	A Proteomic Approach identifies candidate early Biomarkers to Predict Severe Dengue in Children,	Plos Neg Dis.,0004435, 1-15. 2016 (IF: 3.948)	Original Article
163	Henrietta, T D, Kimura, D, Miyakoda, M., 他	感染症内科	Expression of PD-1/LAG-3 and cytokine production by CD4+ T cells during infection with Plasmodium parasites, Microbiol.	Immunol., 60(2), 121-131, 2016. (IF: 1.428)	Original Article
164	Kimura, D, Miyakoda, M., Kimura K., 他	感染症内科	Interleukin-27-producing CD4+ T cells regulate protective immunity during malaria parasite infection,	Immunity, 44: 672-682, 2016. (IF: 24.082)	Original Article
165	Akbari M, Kimura K, Houts JT, 他	感染症内科	Intravital imaging of the immune responses during liver-stage malaria infection: an improved approach for fixing the liver,	Parasitol Int, 65: 502-505, 2016. (IF: 1.860)	Original Article
166	Kimura D, Uga S.	感染症内科	Simple and effective method for observation of suspended parasite specimens using vaseline and paraffin mixture.	Parasit Int. 65 (5) 596-598. 2015. (IF: 1.860)	Original Article
167	Hashizume J, Higuchi N, Sato K, 他	薬剤部	Evaluation of Antiemetic Therapy for Hepatic Transcatheter Arterial Infusion Chemotherapy with Cisplatin.	Biol Pharm Bull 39(4): 611-4, 2016. (IF: 1.574)	Original Article

168	Tashiro M, Fushimi K, Takazono T, 他	感染症内科	A mortality prediction rule for non-elderly patients with community-acquired pneumonia.	BMC Pulm Med 16(1): 39-39, 2016 (IF: 2.329)	Original Article
169	Abe S, Obata Y, Oka S, 他	腎臓内科	Chondroitin sulfate prevents peritoneal fibrosis in mice by suppressing NF- κ B activation.	Med Mol Morphol 49(3): 144-53, 2016 (IF: 1.471)	Original Article
170	Izumikawa K.	感染症内科	Clinical features of severe or fatal Mycoplasma pneumoniae pneumonia.	Front Microbiol. 7:800, 2016 (IF: 4.165)	Original Article
171	Hanada M, Sakemoto N, Ishimatsu Y, 他	リハビリテーション部	Effect of long-term treatment with corticosteroids on skeletal muscle strength, functional exercise capacity and health status in patients with interstitial lung disease.	Respirology 21(6): 1088-1093, 2016 (IF: 3.078)	Original Article
172	Hirayama T, Takazono T, Horai Y, 他	感染症内科	Pulmonary Nocardiosis Caused by Nocardia concava with a Literature Review.	Intern Med 55(9): 1213-1217, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
173	Izumikawa K.	感染症内科	Recent advances in chronic pulmonary aspergillosis.	Respir Investig. 54(2):85-91, 2016 (IF: 0)	Original Article
174	Takazono T, Sawai T, Tashiro M, 他	感染症内科	Relapsed Pulmonary Cryptococcosis during Tumor Necrosis Factor α Inhibitor Treatment.	Intern Med 55(19): 2877-2880, 2016 (IF: 0.832)	Original Article
175	Nishikawa H, Sakagami T, Yamada E, 他	第二内科	T-2307, a Novel arylamidine, is transported into <i>Candida albicans</i> by a high-affinity spermine and spermidine carrier regulated by Agp2.	J Antimicrob Chemother 71(7): 1845-1855, 2016 (IF: 4.919)	Original Article
176	Takeda K, Imamura Y, Takazono T, 他	呼吸器内科	The risk factors for developing of chronic pulmonary aspergillosis in nontuberculous mycobacteria patients and clinical characteristics and outcomes in chronic pulmonary aspergillosis patients co-infected with nontuberculous mycobacteria.	Med Mycol. 54(2): 120-7, 2016 (IF: 2.644)	Original Article
177	Kurihara S, Satoh A, Yu F, 他	安全管理部	The world first two cases of severe fever with thrombocytopenia syndrome: An epidemiological study in Nagasaki, Japan.	J Infect Chemother 22(7): 461-465, 2016 (IF: 1.425)	Original Article
178	Fuchi N, Miura K, Imaizumi Y, 他	産科婦人科	Adult T-cell leukemia-lymphoma in a pregnant woman diagnosed as a human T-cell lymphotropic virus type 1 carrier.	J Obstet Gynaecol Res 42(3):336-40, 2016 (IF: 0.94)	Original Article
179	Kaku N, Morinaga Y, Takeda K, 他	検査部	Antimicrobial and immunomodulatory effects of tedizolid against methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> in a murine model of hematogenous pulmonary infection.	Int J Med Microbiol 306(6):421-8, 2016 (IF: 3.896)	Original Article
180	Kimura Y, Morinaga Y, Akamatsu N, 他	検査部	Antimicrobial susceptibility and molecular characteristics of methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> in a Japanese secondary care facility.	J Infect Chemother 22(1):14-8, 2016 (IF: 1.425)	Original Article
181	Uno N, Araki N, Kaku N, 他	検査部	Clinical application of a ligation-independent pathway of multiplex ligation-dependent probe amplification for the determination of quinolone susceptibility of <i>Streptococcus pneumoniae</i> .	J Microbiol Methods 128:13-5, 2016 (IF: 1.857)	Original Article
182	Hasegawa H, Bissonnette RP, Gillings M, 他	呼吸器内科	Induction of apoptosis by HBI-8000 in adult T-cell leukemia/lymphoma is associated with activation of Bim and NLRP3.	Cancer Sci 107(6):1124-33, 2016 (IF: 3.896)	Original Article
183	Yoshida M, Takazono T, Tashiro M, 他	感染症内科	Recurrent <i>Streptococcus agalactiae</i> Toxic Shock Syndrome Triggered by a Tumor Necrosis Factor- α Inhibitor.	Intern Med 55(21):3211-3214, 2016 (IF: 0.904)	Original Article
184	Matsumoto N, Mori S, Hasegawa H, 他	呼吸器内科	Simultaneous screening for JAK2 and calreticulin gene mutations in myeloproliferative neoplasms with high resolution melting.	Clin Chim Acta 462:166-173, 2016 (IF: 2.799)	Original Article
185	Murata M, Morinaga Y, Akamatsu N, 他	検査部	The Rapid Induction of Carbapenem-Resistance in an <i>Aeromonas dhakensis</i> Blood Isolate.	Jpn J Infect Dis 69(5):439-41, 2016 (IF: 0.92)	Original Article
186	Sakimura C, Eguchi S, Yamanouchi K, 他	臨床研究センター	The first report of the thyroid function of haemophilic patients with HIV/HCV co-infection in Japan.	Haemophilia 22(3):e130-3, 2016 (IF: 2.673)	Original Article

187	Mussazhanova Z, Akazawa Y, Matsuda K, 他	病理診断科・病理部	Association between p53-binding protein 1 expression and genomic instability in oncocytic follicular adenoma of the thyroid.	Endocr J. 2016 May 31; 63(5):457-67. doi: 10.1507/endocrj.EJ15-0629. Epub 2016 Mar 1. (IF: 1.997)	Original Article
188	Debata A, Yoshida K, Ujifuku K, 他	脳神経外科	Hyperglycemia is associated with poor survival in primary central nervous system lymphoma patients.	Tumori. 2016 Dec 29:0. doi: 10.5301/tj.5000590. [Epub ahead of print] (IF: 1.071)	Original Article
189	Hashisako M, Tanaka T, Terasaki Y, 他	病理診断科・病理部	Interobserver Agreement of Usual Interstitial Pneumonia Diagnosis Correlated With Patient Outcome.	Arch Pathol Lab Med. 2016 Dec; 140(12):1375-1382. (IF: 2.631)	Original Article
190	Akazawa Y, Nakao K.	移植・消化器外科	Lipotoxicity pathways intersect in hepatocytes: Endoplasmic reticulum stress, c-Jun N-terminal kinase-1, and death receptors.	Hepatol Res. 2016 Sep;46(10):977-84. doi: 10.1111/hepr.12659. Epub 2016 Apr 15. Review. (IF: 2.208)	Original Article
191	Kakoki K, Miyata Y, Mochizuki Y, 他	泌尿器科・腎移植外科	Long-term Treatment With Sequential Molecular Targeted Therapy for Xp11.2 Translocation Renal Cell Carcinoma: A Case Report and Review of the Literature.	Clin Genitourin Cancer. 2016 Dec 29. pii: S1558-7673(16)30372-X. doi:10.1016/j.clgc.2016.12.026. (IF: 2.457)	Original Article
192	Hashisako M, Fukuoka J.	病理診断科・病理部	Pathology of Idiopathic Interstitial Pneumonias.	Clin Med Insights Circ Respir Pulm Med. 2016 Feb 29;9:123-33. (IF: 1.77)	Original Article
193	Matsuda K, Tateishi S, Akazawa Y, 他	病理診断科・病理部	Rapid growth of mitotically active cellular fibroma of the ovary: a case report and review of the literature.	Diagn Pathol. 2016 Oct 22;11(1):101. (IF: 1.022)	Original Article
194	Takaki M, Tanaka T, Komohara Y, 他	感染症内科	Recurrence of pulmonary alveolar proteinosis after bilateral lung transplantation in a patient with a nonsense mutation in CSF2RB.	Respir Med Case Rep. 2016 Aug 13; 19:89-93. (IF: 3.036)	Original Article
195	Akazawa Y, Fukuda D, Fukuda Y.	移植・消化器外科	Vonoprazan-based therapy for Helicobacter pylori eradication: experience and clinical evidence.	Therap Adv Gastroenterol. 2016 Nov;9(6):845-852. Epub 2016 Sep 22 (IF: 3.883)	Original Article

小計 9

計195件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
- 記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 諮ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規定が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規定」 ・ 主な内容 臨床研究利益相反審査委員会は「利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。 申告書により利益相反が明らかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された研究計画書 に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・	

<p>報告等を行なう。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップも行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）</p>	
<p>③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況</p>	<p>年 12 回</p>

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

<p>① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況</p>	<p>年 7 回</p>
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>以下の研修を、本院臨床研究センター主催で実施した。</p> <p>○平成28年度 臨床研究に関する研修会（7回）</p> <p>内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、倫理委員会申請時の注意点、研究計画書の作成方法、データマネジメントについて、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会の審査対象となる研究について、個人情報・試料・情報の取扱いについて、医師主導治験について、倫理指針の改正についてなど</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院の「最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。」という基本理念のもと、医師としての人間性の涵養とプライマリ・ケアの基本診療能力の修得を達成する。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	73人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
中道 聖子	総合診療科	准教授	23年	
阿比留 教生	内分泌・代謝内科	准教授	27年	
中村 英樹	リウマチ・膠原病 内科	講師	25年	
白石 裕一	神経内科	講師	18年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	28年	
迎 寛	腎臓内科	教授	32年	
尾長谷 靖	呼吸器内科	准教授	25年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	34年	
前村 浩二	循環器内科	教授	31年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	31年	
森本 浩之輔	感染症内科	准教授	24年	
永安 武	呼吸器外科	教授	30年	

山之内 孝彰	乳腺・内分泌外科	講師	21年	
江口 晋	消化器外科	教授	25年	
高槻 光寿	小児外科	准教授	23年	
田中 克己	形成外科	教授	33年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	35年	
小澤 寛樹	精神科	教授	32年	
森内 浩幸	小児科	教授	33年	
竹中 基	皮膚科	准教授	28年	
宮田 康好	泌尿器科	准教授	24年	
増崎 英明	産婦人科	教授	40年	
北岡 隆	眼科	教授	34年	
原 哲也	麻酔科	教授	25年	
高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	教授	40年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	36年	
田崎 修	救急科	教授	27年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	28年	
尾崎 誠	整形外科	教授	26年	
藤原 卓	歯科	教授	34年	
吉田 教明	歯科	教授	31年	
朝比奈 泉	歯科	教授	34年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 各種専門薬剤師に関する早期体験学習・研修の期間・実施回数 毎年9月～1月：計11回・研修の参加人数 9名（勤務2年目の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 フィジカルアセスメント講習会・研修の期間・実施回数 毎年5月～3月：計12回・研修の参加人数 22名（長崎県下薬局および病院勤務の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護・研修の期間・実施回数 平成28年8月13日（全1回）・研修の参加人数 延べ5名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護・研修の期間・実施回数 平成28年6月27日～平成28年10月24日（全5回）・研修の参加人数 延べ49名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と臨床研究・研修の期間・実施回数 平成28年6月16日～平成28年11月17日（全5回）・研修の参加人数 延べ9名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 摂食・嚥下リハビリテーション・研修の期間・実施回数 平成28年6月8日～平成28年9月14日（全6回）・研修の参加人数 延べ54名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア・研修の期間・実施回数 平成28年7月16日～平成28年8月6日（全2回）・研修の参加人数 延べ30名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 腎不全看護 ・研修の期間・実施回数 平成28年9月9日～平成29年1月18日（全5回） ・研修の参加人数 延べ24名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護 ・研修の期間・実施回数 平成28年6月11日（全1回） ・研修の参加人数 延べ38名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 感染管理 ・研修の期間・実施回数 平成28年6月17日～平成28年12月16日（全6回） ・研修の参加人数 延べ57名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 褥瘡対策 ・研修の期間・実施回数 平成28年6月14日～平成28年11月9日（全6回） ・研修の参加人数 延べ103名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 周手術期看護 ・研修の期間・実施回数 平成28年6月2日～平成28年10月6日（全5回） ・研修の参加人数 延べ58名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 急変対応シミュレーション ・研修の期間・実施回数 平成28年11月19日～平成28年12月17日（全2回） ・研修の参加人数 延べ10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース シミュレータ教育指導者養成 ・研修の期間・実施回数 平成28年6月13日～平成28年12月12日（全7回） ・研修の参加人数 延べ13名
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 新採用研修プログラム ・研修の期間・実施回数 6ヶ月（調剤業務48回，注射薬室業務30回，抗癌剤調製6回，麻薬業

務2回)

・研修の参加人数 3名（勤務1年目の薬剤師）

・研修の主な内容 薬剤管理指導業務研修

・研修の期間・実施回数 6ヶ月、週2時間

・研修の参加人数 3名（勤務1年目の薬剤師）

・研修の主な内容 休日TDM測定業務研修

・研修の期間・実施回数 2ヶ月間、計3回

・研修の参加人数 9名（勤務2年目の薬剤師）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護

・研修の期間・実施回数 平成28年6月11日（全1回）

・研修の参加人数 延べ21名

・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア

・研修の期間・実施回数 平成28年7月16日～平成28年8月6日（全2回）

・研修の参加人数 延べ53名

・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護

・研修の期間・実施回数 平成28年8月13日（全1回）

・研修の参加人数 延べ15名

・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と臨床研究

・研修の期間・実施回数 平成28年6月16日～平成28年11月17日（全5回）

・研修の参加人数 延べ5名

・研修の主な内容 看護部専門コース 摂食・嚥下リハビリテーション

・研修の期間・実施回数 平成28年6月8日～平成28年9月14日（全6回）

・研修の参加人数 延べ204名

- ・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護
- ・研修の期間・実施回数 平成28年6月27日～平成28年10月24日（全5回）
- ・研修の参加人数 延べ92名

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 増崎 英明
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 上田 祐介 医事課長 吉井 孝博 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 前村 浩二 人事企画課長 近藤 政美 安全・広報課長 吉田 義正

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	各診療科
		看護記録	各診療科
		検査所見記録	各診療科
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	各診療科
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課、医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全・広報課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全・広報課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全・広報課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全・広報課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	安全・広報課 感染制御教育センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	安全・広報課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	安全・広報課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	安全・広報課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	安全・広報課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	安全・広報課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	安全・広報課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	安全・広報課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	安全・広報課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全・広報課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全・広報課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	安全・広報課
		職員研修の実施状況	安全・広報課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	安全・広報課 薬剤部 ME機器センター

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 浜村 博	
閲覧担当者氏名	総務課長 上田 祐介	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医療安全管理に関する基本的考え方○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針○医療事故発生時の対応に関する基本方針○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針○患者等からの相談への対応に関する基本方針○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (有 無)○医療安全管理委員会 (月 1 回開催)○リスクマネージャー会議 (月 1 回開催)・ 開催状況：年 24 回・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○院内インシデント・アクシデント報告等情報収集○医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進○医療事故防止のための教育及び研修等の決定○インシデント・アクシデントレポートの分析の報告	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医療事故防止対策マニュアルの改訂○インシデントレポート報告システムの改良○安全管理部部員等による院内巡視○医療安全ポケットマニュアルの改訂○安全管理部カンファレンス (週 1 回実施)	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策委員会の設置2. 職員研修の実施3. 病院感染発生時の対応4. 院内感染対策マニュアルの策定5. 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明6. その他の病院における院内感染対策の推進 <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開ICTラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数13名、計14名の過半数の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">①平成28年7月29日 第1回院内感染対策講習会 「特定抗菌薬使用届提出のお願い」 感染制御教育センター 今村政信 薬剤師②平成28年11月2日 第2回院内感染対策講習会 「熊本地震における災害時医療を経験して：感染制御医の立場から」 熊本大学医学部附属病院 感染制御部 川口辰哉 医師③平成28年12月9日 第3回院内感染対策講習会 「感染症を予防するためには～アルコール製剤による手指衛生の重要性～」 感染制御教育センター 田代将人 医師 <p>その他、清掃、看護補助業務を行うものに対しては年に1回程度別途実習を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	(有・無)
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核などの伝染性疾患に関する検査情報はリアルタイムに報告がある。</p> <p>以上のうち、院内感染対策錠重要な微生物が検出された場合は、その都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導し、記録として保存している。また、週に1回は病棟、外来、中央診療などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： 「患者持参薬について～持参薬運用に潜むリスクとマネジメント～」(講師：薬剤部指導室主任) 実施日：平成28年7月29日、イントラネット動画研修、受講人員：2163 人 (94 %)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理) 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 7. 他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用 13. 院内製剤の取り扱いについて 14. 当該手順書の順守状況の確認 実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会(以下、薬機専)で把握している。その他の適応外使用等、未承認等の使用については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、薬機専でも把握している。 医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようになっている。 【周知方法】 未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。	

改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DIGS）には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

（注）前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 24 回
・ 研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、不具合が発生した場合の対応に関する事項、使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： メーカーが推奨する性能試験、電気的安全試験などを実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構やPMDAなどからの情報を収集し、RMニュースとして各リスクマネージャーへ周知している。機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能としている。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第9条の23第1項第1号から第15号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無												
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長は、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会（医療安全管理委員会）の構成員であり、各委員会の報告を医療安全管理委員会において実施している。</p>													
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無												
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部薬品情報室に行わせている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会（以下、薬機専）において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p> <p>その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。</p> <p>・担当者の指名の有無（有）無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table border="0" data-bbox="199 1456 1388 1769"><tr><td>（所属：薬剤部，職種 薬剤師）</td><td>（所属：安全管理部，職種 医師）</td></tr><tr><td>（所属：循環器内科，職種 医師）</td><td>（所属：泌尿器科，職種 医師）</td></tr><tr><td>（所属：移植・消化器外科，職種 医師）</td><td>（所属：第一内科，職種 医師）</td></tr><tr><td>（所属：顎・口腔外科，職種 医師）</td><td>（所属：感染制御教育センター，職種 医師）</td></tr><tr><td>（所属：小児科，職種 医師）</td><td>（所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士）</td></tr><tr><td>（所属：看護部，職種 看護師）</td><td>（所属：事務部長，職種 事務職員）</td></tr></table>		（所属：薬剤部，職種 薬剤師）	（所属：安全管理部，職種 医師）	（所属：循環器内科，職種 医師）	（所属：泌尿器科，職種 医師）	（所属：移植・消化器外科，職種 医師）	（所属：第一内科，職種 医師）	（所属：顎・口腔外科，職種 医師）	（所属：感染制御教育センター，職種 医師）	（所属：小児科，職種 医師）	（所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士）	（所属：看護部，職種 看護師）	（所属：事務部長，職種 事務職員）
（所属：薬剤部，職種 薬剤師）	（所属：安全管理部，職種 医師）												
（所属：循環器内科，職種 医師）	（所属：泌尿器科，職種 医師）												
（所属：移植・消化器外科，職種 医師）	（所属：第一内科，職種 医師）												
（所属：顎・口腔外科，職種 医師）	（所属：感染制御教育センター，職種 医師）												
（所属：小児科，職種 医師）	（所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士）												
（所属：看護部，職種 看護師）	（所属：事務部長，職種 事務職員）												
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無												
<p>・医療の担い手が説明を行う際の実行者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有）無</p>													

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても、推進する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録及び退院時要約の記載内容について監査、法令に基づく診療録の管理、診療情報記録の提供

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従（5）名、専任（1）名、兼任（4）名

うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち事務職員：専従（1）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

○医療事故防止対策マニュアルの改訂

○安全管理部部員等による院内巡視

○インシデントレポートの分析

○死亡事例の把握・検証

○安全管理部カンファレンス（週1回実施）

○医療安全講習会について、eラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 無）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術の担当部門として、医療安全部門が兼任し、届け出先となる医事課とともに事例の収集とモニタリングを実施するとともに、別に組織した高難度新規医療技術評価委員会において検討された内容をもとに、新規技術の適否を決定し、医療安全管理委員会へ報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)

・ 活動の主な内容：

医薬品医療機器等安全管理委員会が、医療安全管理委員会と連携し、次の各号に掲げる事項について審議している。

- (1) 医薬品医療機器等の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び改定に関すること。
- (2) 従業者に対する医薬品医療機器等の安全使用のための研修に関すること。
- (3) 医薬品医療機器等の安全使用のための手順書に基づく業務に関すること。
- (4) 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集その他の医薬品の安全
- (5) 本院で使用したことのない医薬品又は高度管理医療機器であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）における承認又は認証を受けていないもの（以下「未承認新規医薬品等」という。）を用いた医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。
- (6) 医薬品医療機器等法における承認又は認証を受けている医薬品又は高度管理医療機器について、本院において、承認若しくは認証と異なる使用又は禁忌に該当する使用を伴う医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑨ 監査委員会の設置状況

(有 無)

・ 監査委員会の開催状況：年2回予定 第1回 平成29年11月16日開催予定

・ 活動の主な内容：

○医療安全管理に関する責任者、医薬品安全管理に関する責任者、医療機器安全管理に関する責任者、安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に

応じて自ら確認を実施すること。

○必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。

○上記に掲げる事項について、その結果を公表すること。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・委員名簿の公表の有無（有・無）

・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

ホームページに公表している。業務実施結果については、開催後公表予定である。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学病院	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
星田 美鈴			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
長谷川ゆり	本院産科婦人科		その他学長が必要と認めた者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3
				有・無 有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 189 件（平成 28 年度）
※平成 29 年 4 月～8 月末 84 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 37 件（平成 28 年度）
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - インシデントレポートの分析
 - 死亡事例の把握・検証
 - 安全管理部カンファレンス（週 1 回実施）

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名：新潟大学医歯学総合病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名：香川大学医学部附属病院）・無
- ・技術的助言の実施状況
他の特定機能病院等への立入り及び他の特定機能病院等からの立入り受入れについては、いずれも実施予定である。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
患者相談室を設置し、医療安全を含む患者からの相談を受け付ける体制を確保しているとともに、意見箱やホームページ等への意見や直接の相談事例へ対応するために、あらたに組織を設立し、複数のチャンネルで患者相談に応じる体制を確立している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

○平成 28 年 9 月 27 日

- ・「医療事故調査制度の改正と現在の状況」福崎博孝法律事務所 福崎 博孝 先生
- ・「医療法改正特定機能病院に関する変更点」安全管理部副部長 栗原 慎太郎 先生

○平成 28 年 12 月 9 日

- ・「チーム医療」安全管理部副部長 栗原 慎太郎 先生

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医療安全担当者、医薬品安全管理責任者については、すでに医療安全に関する講習を受講している。

また、医療機器安全管理責任者は、前医療安全管理責任者であり、講習の履歴がある。

ただし、マネジメント層向けの研修の要件が明確になり次第、改めて受講することとし、平成 29 年度中にすべて受講を終了する予定である。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成28年度安全管理部研修会開催状況

安全管理部

H29.1.20現在

	研修内容	開催日	e-ラーニング	研修講師名(所属)	受講人員 全体人数(%)
1	平成28年度 第1回医療安全研修会 ①「患者持参薬について ～持参薬運用に潜むリスクとマネージメント～」	平成28年7月29日 (DVD) 平成28年8月3日 平成28年8月4日 平成28年8月9日	1154人	①薬剤部薬剤管理指導室主任 嶺 豊春 先生	(全体) 2209人 (受講者) 2201人
2	平成28年度 第2回医療安全研修会 ①「医療安全施策の動向」	平成28年8月18日 (DVD) なし	1047人	①厚生労働省医政局総務課 医療安全推進室 名越 究 室長	(全体) 2299人 (受講者) 1930人
3	平成28年度 第3回医療安全研修会 ①「医療事故調査制度の改正と現在の状況」 ②「医療法改正特定機能病院に関する変更点」	平成28年9月27日 (DVD) 平成28年10月6日 平成28年10月13日	406人	①福岡博孝法律事務所 福岡 博孝 先生 ②安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先生	(全体) 2299人 (受講者) 2066人
4	平成28年度 第4回医療安全研修会 ①「チーム医療」	平成28年12月9日 (DVD) 平成28年12月16日 平成28年12月21日	851人	①安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先生	(全体) 2299人 (受講者) 1954人
	合計	657人	1297人		85%
		2961人	5190人		8151人(90%)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
○日本医療機能評価機構 病院機能評価認定取得更新 (2013年3月17日～)	
○NPO法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修評価認定取得 (2014年3月1日～)	
○日本適合性認定協会 ISO 15189:2012認定取得 (2017年3月16日～)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
○ホームページ上に、病院の医療に関する情報を病院評価指標として54項目 (高度な医療の提供、難治性疾患の治療、看護師の養成、薬剤師の養成、コメディカルの養成、臨床試験、最後の砦、医療情報の提供、医師派遣) についてその実績を公開している。	
○ホームページ上に各診療科が行っている診療内容と実績について公開している。	
○患者向け病院広報誌「ポンペだより」において、「医療最前線」として各診療科における最新の医療について紹介している。	
○紹介初診患者については、診療科毎に「対応可能な専門的治療」や「外来診療日」等をまとめた『診療科案内』を作成し、地域の医療機関へ配付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	
各診療科、中央診療施設、看護部及び事務部からそれぞれ選出された者で組織する「診療実務部」を設置し、院内各部署間の円滑な連携を図っている。	